取扱説明書

保証書付き
（裏表紙に付いています）

AQUA

全自動電気洗濯機 家庭用

品番 AQW-S6B
（6kgタイプ）

AQW-S5B
（5kgタイプ）

このたびは、全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
お読みになった後は、余った付属品、据え付けのリーフレット
などと一緒に大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

0030521422B

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意 必ずお守りください …… 2
各部のなまえ / 付属品 …… 4
ふたロック / チャイルドロック …… 4
操作パネル部のはたらき …… 5
洗濯の前に …… 6
各コースの所要時間 …… 8
洗剤類の使いかた …… 9
【使用量（目安）・石けん・洗剤・漂白剤・柔軟剤・のりづけ】

使いかた

洗濯する 標準 おいそぎ すすぎ1回 …… 11
自分流の運転内容を記憶させる 自分流 …… 12
毛布・ふとんを洗濯する 毛布 …… 13
デリケートな衣類を洗濯する おしゃれ着 …… 14
風乾燥（槽乾燥）をする …… 16
コースの運転内容を変更する【お好み設定】 …… 17
予約運転をする …… 18

必要なとき

こんなとき …… 19
- 自動で決まる水量を増やしたい／減らしたい
- 水を追加したい
- ほぐし仕上げをやめたい
- 終了ブザー音を消したい
- 風呂の残り湯を使いたい
- 洗濯液を2回使いたい
- 凍結のおそれがある

お手入れ …… 20
- 本体
- 給水口
- 排水口
- 洗濯・脱水槽 槽洗浄 …… 21
- 糸くずフィルター

据え付け …… 22
こんな表示がでたら 修理を依頼する前に …… 30
故障かな？ …… 31
別売部品 …… 33
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について …… 33
仕様 …… 34
保証とアフターサービス …… 34
お客さまご相談窓口 …… 35
裏表紙

ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願いいたします。
https://aqua-has.com/support/reg/

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、
必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	死亡や重傷を負うことが想定される内容です。
⚠注意	傷害や物的損害の発生が想定される内容です。

■お守りいただく内容を次の表示で区分し、説明しています。

🚫	してはいけない「禁止」内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　告

本体／洗濯・脱水槽

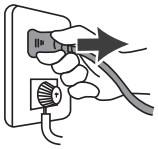
🚫
- **子供を洗濯・脱水槽内に入らせない**
  (感電・けが・おぼれる原因)
- **子供には洗濯・脱水槽をのぞかせない**
  本体の近くに台などを置かない
  子供など不慣れなかただけで使わせない
  (洗濯・脱水槽への落下によるけがの原因)
- **回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない**
  完全に止まるまでは、絶対に触らないでください。ゆるい回転でも洗濯物が手に巻き付くことがあります。(けがの原因)
  特に子供には注意してください
  チャイルドロック ➡P4
- **分解・修理・改造は絶対にしない**
  (火災・感電・けが・水もれの原因)
  修理はお買い上げの販売店、または当社
  修理相談窓口 ➡P35 にお問い合わせください。
- **お手入れなどで、本体各部に直接水をかけない**
  (感電・漏電火災の原因)
- **火気を近付けない**
  ローソク・タバコ・蚊取り線香など
  (火災・変形の原因)
- **引火物や、引火物の付着した洗濯物を洗濯・脱水槽に入れたり近付けたり絶対にしない**
  引火物：灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなど引火性のあるもの
  (爆発・火災の原因)
- **操作部付近に磁石など磁気を帯びたものを近付けない**
  (上ぶたが開いた状態での誤動作によるけがの原因)

❗
- **動かない・煙が出た・変な臭いや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する**
  (感電・漏電・ショートによる火災の原因)

電源プラグ・コード

🚫
- **電源プラグや電源コードが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
  (感電・ショート・発火の原因)
- **傷付け・加工・破損・無理な曲げ・たばねる・引っ張る・ねじる・重いものをのせる・はさみ込むなどしない**
  (破損による火災・感電の原因)
- **ぬれた手で抜き差ししない**
  (感電の原因)
- **延長コードは使用しない**
  (火災・感電の原因)
- **テーブルタップによるタコ足配線はしない**
  (火災・感電の原因)

❗
- **定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う**
  電源プラグは根元まで確実に差し込む
  (火災・感電の原因)
- **定期的に電源プラグのほこりなどを乾いた布で拭き取る**
  (ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因)
- **電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たず電源プラグを持って抜く**
  (感電・ショート・発火の原因)
- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く**
  (感電・けがの原因)



- **長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから必ず抜く**
  (絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)

⚠ 警　告

据え付け

- **浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない**
  （感電・漏電火災の原因）

- **アースを確実に取り付ける**
  （故障・漏電による感電の原因）
  アース工事は、必ずお買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。工事費は本体価格には含まれません。

- **底部から手足が入る場合は、付属の底カバーを取り付ける**
  （回転部などで手足のけがや感電の原因）

上ぶた

- **ロックしている上ぶたを無理に開けない**
  （上ぶた・ロック機構の破損、けがの原因）

- **上ぶた（ガラス面）に物を落としたり、衝撃を加えたりしない**
  上ぶた（ガラス面）の上に乗ったり、物を置いたりしない
  （破損〔割れ・傷・ひび〕によるけがの原因）
  万一、ガラスが破損した場合は使用を中止し、すぐにお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

⚠ 注　意

洗濯物

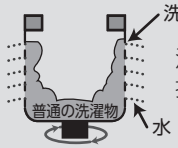
- **防水性のマット・シートや衣類、足拭きマットなどの固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・風乾燥をしない**
  （洗濯物の飛び出し、異常振動によるけが、本体・壁・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの原因）

例
足拭きマットなど固くて厚いもの、寝袋、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、カーペット、スキーウェア、ウインドブレーカー、自転車・バイク・自動車のカバー、防水シートなど、
その他、防水性の水を通しにくいもの

■防水性衣類の確認方法
衣類に口を当て、息を吹き付けて
息が通らない場合は、防水性衣類です。

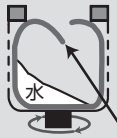
脱水のご注意

■普通の洗濯物



洗濯物の水は洗濯・脱水槽の穴から抜け出る

■防水性の衣類・繊維製品



洗濯・脱水槽が回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から出られないため、水が片寄って大振動を引き起こす

防水性の衣類・繊維製品

洗濯・脱水槽が高速回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から出られないため、水が上に移動して大振動とともに飛び出る

据え付け

- **直射日光のあたる場所には据え付けない**
  （プラスチック部品の変色・変形の原因）
- **冬期に凍結のおそれのある場所には据え付けない**
- **排水ホースの付け換え時には、必ず手袋をする**
  （けがの原因）

本　体

- **運転中、本体の下に手足を入れない**
  （けがの原因）
- **本体に手を置いたまま、上ぶたを開閉しない**
  （手や指をはさむことによるけがの原因）

給　水

- **50℃以上のお湯は使わない**
  給湯器とつながない
  （プラスチック部品の変形・傷みによる感電・漏電・水もれの原因）
- **さび・砂鉄の含まれる水は使わない**
  （井戸水・さびた給水管などの使用は水もれ・給水異常・故障の原因）

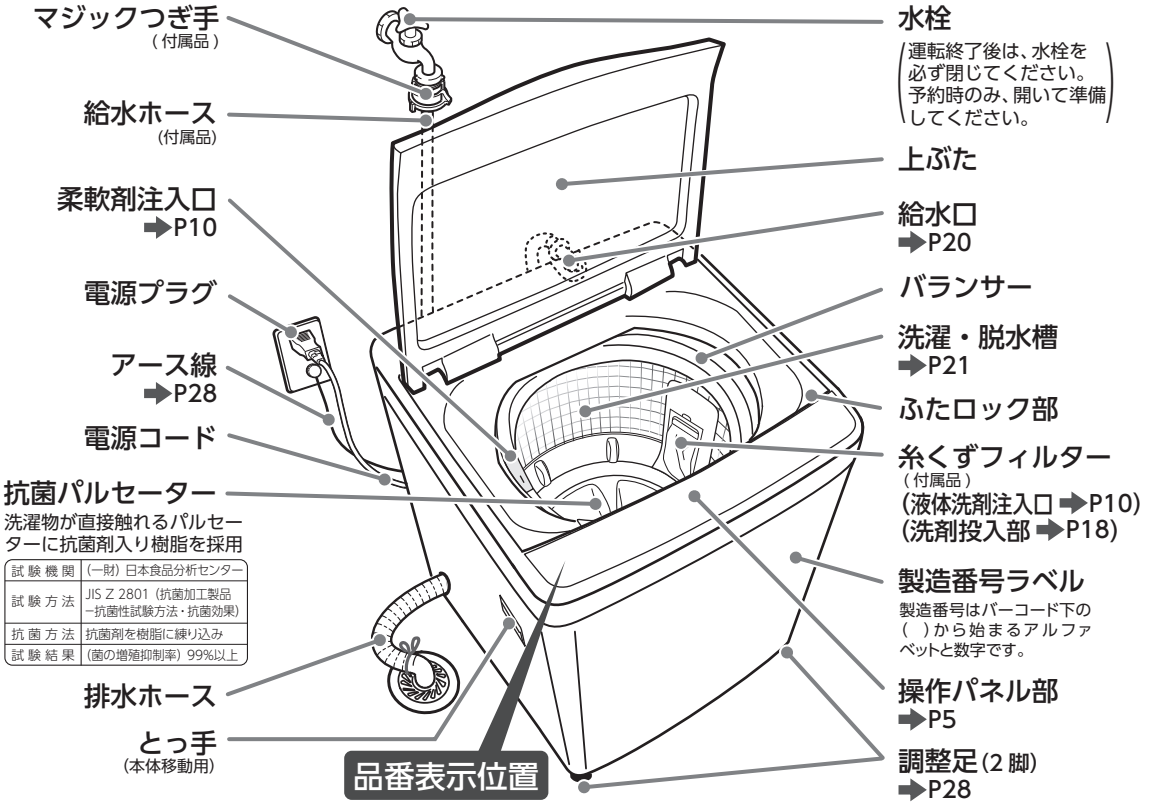
運転前後

- **運転前は水栓を開き、水もれがないか確認する**
  （水もれの原因）
- **運転終了後は、水栓を必ず閉じる**
  （水もれの原因）

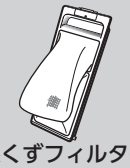
お願い

- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから早めに抜いてください。落雷により故障することがあります。
- すすぎ・脱水中に上ぶたがロックされない場合や脱水中にふたロックを解除しても洗濯・脱水槽が回転している場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

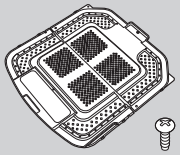
各部のなまえ / 付属品



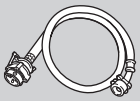
付属品



糸くずフィルター
（1個）
➡P22



底カバー（1個）
ネジ（1本）
➡P23



給水ホース
（マジックつぎ手付き）
（1本・長さ 約80cm）
➡P26～27

ふたロック / チャイルドロック

ふたロック

「すすぎ」「脱水」「風乾燥」「チャイルドロック設定」時は、上ぶたがロックされます。

- **点灯中**
  上ぶたはロックされ開きません。
- **消灯中**
  上ぶたを開けることができます。

ふたロック中に 上ぶたを開けたい

スタート 一時停止 を押す ▶ 「ピッ」と鳴り、 が消灯後、開ける

- 「ピピッ」と鳴ったとき：チャイルドロックが設定されています。

電源が入っていないとき

運転中に停電したときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、ロックされたままになります。

電源を「入」にして、 が消灯後、開ける

- 電源を入れたとき「ピッピッピッ」と鳴り UL を表示した場合は、チャイルドロックが設定されています。

チャイルドロック

子供の安全のため、上ぶたが開かないようにするとともにボタン操作をできないようにします。

チャイルドロックは、洗剤を投入し運転を開始してから設定してください。

運転を開始し、上ぶたを閉めてから

コース を約5秒間押し続ける

- 「ピッ」と鳴り UL を（約１秒間）表示します。
- 上ぶたにロックがかかり、電源の「入」「切」とチャイルドロック解除以外の操作ができなくなります。

運転中以外でチャイルドロックを設定したいとき

1 電源「入」の状態で コース を約５秒間押し続ける
2 スタートし、すぐに電源を切る

解除 電源「入」の状態で コース を約５秒間押し続ける

- 「ピッピッピッ」と鳴り、解除完了

お知らせ

- 電源を切っても解除するまで上ぶたは開けられません。
- 電源「入」の状態であれば、設定 / 解除できます。ただし、一時停止中は設定 / 解除できません。
- 電源を入れたとき「ピッピッピッ」と鳴り UL を表示した場合は、チャイルドロックが設定されています。
- U4 を表示した場合は、上ぶたを閉め スタート 一時停止 を押してください。

操作パネル部のはたらき

残時間・予約時間・水量・設定内容などの表示

残時間

（例）残り20分の場合

●残り　○注水　○風乾燥　20　回○　分●　L○

◆99分をこえるとき

2H（2時間）、3H（3時間）…、10時間はAH、11時間はbH、12時間はCHと表示します。

予約時間 ➡P18

（例）6時間に設定した場合

○残り　○注水　○風乾燥　6　回○　分○　L○

水　量

（例）46Lの場合

○残り　○注水　○風乾燥　46　回○　分○　L●

注水すすぎ

（例）注水2回の場合

○残り　●注水　○風乾燥　2　回●　分○　L○

お知らせ表示 ➡P30

異常が発生したとき
点滅とブザーでお知らせします。

（例）給水しない場合　E1

布量検知中 ➡P8

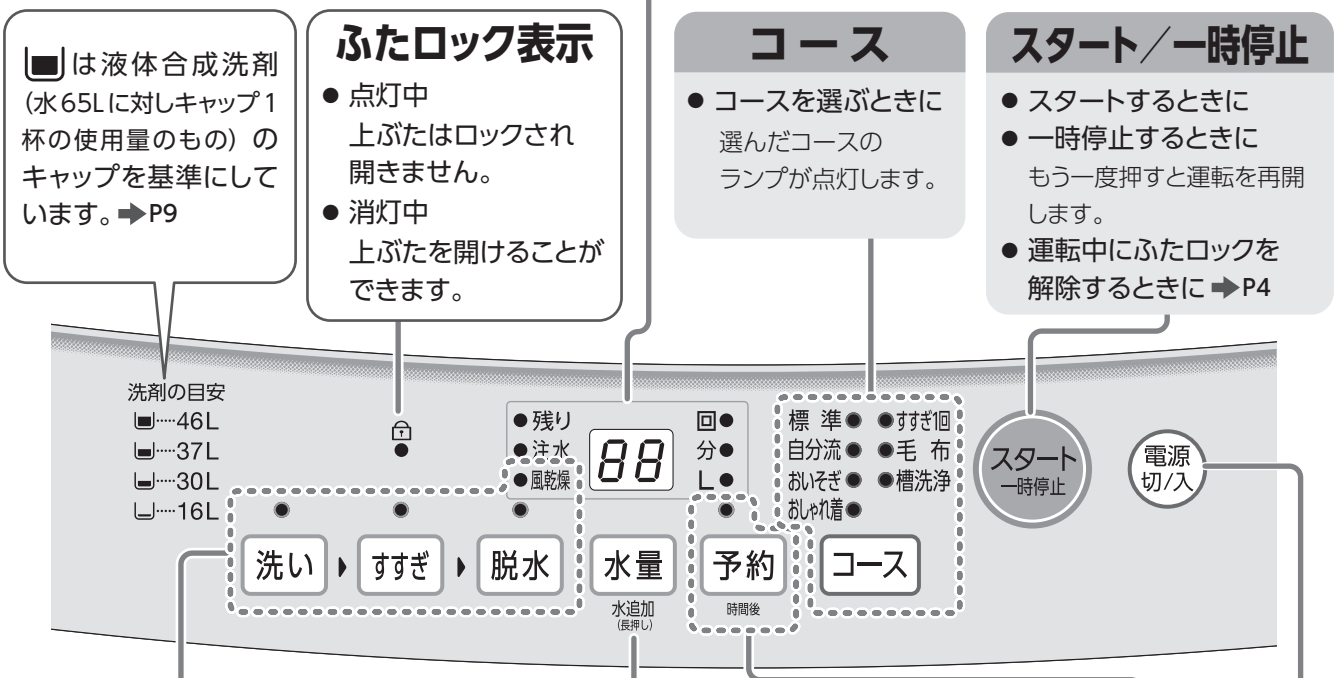
電源を入れると、
布量検知前にも表示します。

--

ふたロック解除中

点滅中は操作できません。

CJ



洗い・すすぎ・脱水（風乾燥）

- 「洗い」「すすぎ」「脱水」を、お好みの運転内容に変更するときに ➡P17
- 風乾燥を設定するときに ➡P16
  脱水 を繰り返し押すと、風乾燥の設定ができます。設定すると、風乾燥ランプが点灯します。
- 運転中の行程のランプが点滅、残りの行程は点灯で表示します。

水量

- お好みの水量に変更するときに
  運転中（すすぎ終了までの間）は、一時停止すると変更できます。
- 設定水量を確認するときに
  運転中に押すと確認できます。
- 自動で決まる水量を変更するときに ➡P19
- 水を追加するときに ➡P19

予約

- 予約運転をするときに ➡P18
  - 今から何時間後に運転を終了するか設定します。
  - 予約待機中は、予約ランプのみ点灯します。

電源　切／入

- 電源の「入」「切」に
  電源を入れると記憶しているコースのランプが点灯します。
- オートオフ機能（自動的に電源が切れます）
  - 運転が終了したとき
    以下の設定をしなかったとき …… 運転終了後すぐ
    チャイルドロックを設定したとき …… 5分後
    凍結防止（残水排水）設定をしたとき …… 10分後
  - スタートさせずに放置したとき …… 5分後

ふたロック表示

- 点灯中
  上ぶたはロックされ開きません。
- 消灯中
  上ぶたを開けることができます。

コース

- コースを選ぶときに
  選んだコースのランプが点灯します。

スタート／一時停止

- スタートするときに
- 一時停止するときに
  もう一度押すと運転を再開します。
- 運転中にふたロックを解除するときに ➡P4

▭は液体合成洗剤（水65Lに対しキャップ1杯の使用量のもの）のキャップを基準にしています。➡P9

お知らせ

- コースによっては、選べない設定があります。
- ボタン操作で各種設定（終了ブザー音を消す、凍結防止設定など）をすることができます。
  こんなとき ➡P19～20
- 説明のため、全てのランプを点灯表示しています。

洗濯の前に

本体の準備

1 排水ホースを排水口に差し込む

- 排水ホースの抜けがないか確認してください。

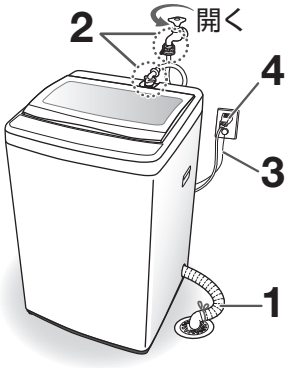
2 給水ホースをつなぎ、水栓を開く

- マジックつぎ手や給水ホースの接続部などから、水もれがないか確認してください。

3 アースを取り付ける

4 電源プラグをコンセントに差し込む

■詳しくは、「据え付け」➡P22～29をお読みください。



洗濯物の準備

洗濯できないもの

（新表示）（旧表示）

左の取扱い表示がある衣類

- **衣類の取扱い表示がないもの、素材が不明なもの**
- **芯地を多く使っており、型くずれするもの**
  ネクタイ・ジャケット・スーツ・つばのある帽子など
- **水につけるだけで著しい収縮や変色、表面変化を起こすおそれのある素材**
  レーヨン・キュプラおよびその混紡品、絹・ウールなどの中で強撚糸使いの生地（ジョーゼット・クレープ・ちりめんなど）
- **毛倒れするもの**
  ビロードなどのパイル地
- **表面の凹凸などが消えやすいもの**
  シワ・エンボス・樹脂加工品など
- **皮革・毛皮、それらの装飾品の付いたもの**
- **和服・和装小物**
- **色落ちしやすいもの**
- **防水性のマット・シートや衣類など** ➡P3
- **わたやウレタン（スポンジ類）を使ったもの**
  座ぶとん・枕・クッションなど

洗濯物を確認する 衣類の傷み、排水異常や故障を防ぐために

衣類の取扱い表示に従う

（新表示）

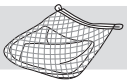
（旧表示）

表示のあるデリケートな衣類は「おしゃれ着」コースを選んでください。

ひもは結ぶ
ボタン・面ファスナーは留める
ファスナーは閉める

- 衣類や本体を傷める原因になります。

市販の洗濯ネットを正しく使う ➡P7



髪の毛・ペットの毛は落とす

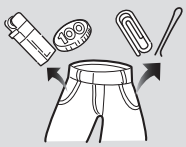
- 本体の故障を防ぐためです。

飾りのある衣類・起毛素材の衣類は裏返して洗う

- 衣類の傷み、毛玉を防ぐためです。

ポケットの中に何も入っていないことを確認する
ヘアピン・カーテンフック・ワイシャツのプラスチッククリップなどは必ず取り除く

- 排水経路に詰まり、故障・異常音・衣類や本体を傷める原因になります。



- 上記の異物などにより故障した場合は、保証の対象外となります。

衣類の取扱い表示（例）

（新表示）（旧表示）	（新表示）（旧表示）	（新表示）（旧表示）	（新表示）（旧表示）	（新表示）（旧表示）	（新表示）（旧表示）
洗濯機で洗濯ができる	手洗いができる	洗濯できない	塩素系および酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる	酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止	漂白処理はできない

汚れがひどいものは前処理をする

シミ汚れ

- 酸素系液体漂白剤や専用洗剤などを塗る
- 食べ物のシミの場合、付いたらすぐに汚れを取り除く
- ジュース・紅茶・化粧水などが付着した衣類は長時間放置せず、すぐに洗い流す

えり・そで口の汚れ

- 専用洗剤を塗る

または、

- 石けんや洗剤液を付けて、やさしくブラッシングする

泥や砂汚れ

- 乾いた状態でブラシなどで落とす（本体の故障を防ぐため）

- 石けんや専用洗剤を付けて、もみ洗いをする

洗濯物を仕分ける

新しい色柄物・色落ちしやすいもの

◆ **分け洗いする**

色落ち確認方法

洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認する

糸くずの付着が気になる衣類

- タオル・バスタオルとは、分けて洗う
- 市販の糸くず防止ネットや細かい網目の洗濯ネットに入れて洗う
- 裏返して洗う

デリケートな衣類や小物類

◆ **洗濯ネットに入れる**

衣類を傷めたり、すき間に入ったりして、故障の原因になる場合があります。

- レースの付いた衣類・ランジェリー・ナイロンストッキング・化繊のうす物など
- ワイヤー入りのブラジャーは、市販の「ブラジャー専用ネット」に必ず入れる

- くつ下やハンカチなどの小物類

お願い

- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネットは使わないでください。
- 洗濯ネットに衣類を詰め込みすぎないでください。
- 厚手の衣類を洗濯ネットに入れて洗濯しないでください。異常振動の原因になります。

洗濯物の入れかた

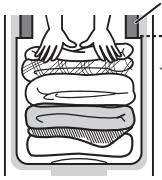
- **水に浮きやすいものやかさばるものから先に入れ、浮かないように均一に押し込む**
  - 水に浮きやすいもの：くつ下やハンカチなどの小物類、フリースなど化繊 100%あるいは混紡衣類、はっ水加工を施したものなど
  - かさばるもの：カーテンなどの大物、ジーンズ・柔道着など厚手の衣類

  ※給水後に浮いてきたら、一時停止をしてバランサーより下に押し込み、水を十分に含ませてください。

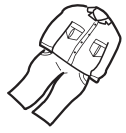
- **洗濯物は入れすぎない**

  洗濯物はバランサーより上に出ないように押し込んでください。給水後に浮いてきた場合は、一時停止をしてバランサーより下に押し込んでください。

  （給水時に水が飛び散り床がぬれる、汚れがよく落ちない、脱水時にはみ出して洗濯物や本体が破損するなどの原因になります。）



洗濯物の重さの目安



作業服上・下（混紡）約 800 g

ジーンズ（綿 100%）約 600 g

パジャマ上・下（綿 100%）約 500 g

バスタオル（綿 100%）約 300 g

ワイシャツ（混紡）約 200 g

半袖肌着（綿 100%）約 110 g

ブリーフ（綿 100%）約 50 g

くつ下（混紡）約 50 g

環境に配慮した使いかた

水

- **風呂水を使う** ➡P19
- **洗濯液を 2 回使う** ➡P19

本製品は洗濯量に応じて水量を無段階に自動設定します。洗濯物を入れ、スタートすると布量センサーがはたらき、適切な水量を設定します。

水 電気 洗剤

- **まとめ洗いをする**

  洗濯回数が減ります。

本製品は待機時消費電力（電源を「切」にした状態の電力）が、0（ゼロ）になっています。

洗剤

- **軽い汚れ※の場合、洗剤量を控えめにする**

  ※脂分をほとんど含まない汗やほこりのような汚れ

- **洗濯液を 2 回使う** ➡P19
- **洗剤を入れすぎない**

各コースの所要時間

コース	水量	洗い（約）	すすぎ	脱水（約）	所要時間（約）
標　準	16 ～ 46L 【16 ～ 45L】 ● 24 ～ 46L【24 ～ 45L】は無段階自動設定 ● 16L は手動設定	11 ～ 13分 【10 ～ 12分】	2回 〔シャワー 1回+ため1回〕	10分 【8分】	38 ～ 40分 【35 ～ 37分】
自分流		設定内容による			
おいそぎ		4 ～ 6分	注水1回	5分	22 ～ 24分
すすぎ 1 回		13分【12分】	ため1回	10分【8分】	38分【35分】
おしゃれ着	37L（自動設定水量） 30L・46L【45L】に切り替え可	4分	注水2回	1分	34分
毛　布	46L【45L】(自動設定水量) 37Lに切り替え可	12分	注水2回	8分	53分
槽洗浄 3 時間	46L【45L】(自動設定水量) 変更できない	つけおき2時間 +洗い11分	ため1回	36分	3時間
槽洗浄12時間		つけおき11時間 +洗い11分			12時間

【　】は、AQW-S5Bの場合

お知らせ

- 所要時間は、給水量が毎分 15L のときの目安です。水道水圧・排水条件などにより変わります。
- 洗濯・脱水槽内にはじめから水があるときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わる場合があります。
- 「ほぐし仕上げ」を行う場合は、所要時間が 1 分長くなります。 ➡下記
- 注水すすぎは、はじめにためすすぎをします。

すすぎの種類

■ シャワーすすぎ
洗濯・脱水槽をゆっくり回し、給水と排水を同時に行いすすぎます。

■ ためすすぎ
水をためてすすぎます。

■ 注水すすぎ
注水しながらすすぎます。

知っておくと便利な機能

ほぐし仕上げ

脱水後、衣類を取り出しやすくするため、約 1 分間ほぐし運転を行います。

- 購入時は設定されています。

ほぐし仕上げするコース

「標準」「自分流」「すすぎ1回」コース

お知らせ

- 次のようなときは「ほぐし仕上げ」を行いません。
  - 水量が46L【45L】のとき
  - 水量を手動で設定したとき
  - お好みで、すすぎ・脱水または脱水のみを設定したとき
- 「ほぐし仕上げ」をやめたいとき ➡P19

【　】は、AQW-S5Bの場合

布量検知（洗濯量の計測）

スタート（一時停止）を押すと、洗濯量を自動的に調べ、水量を表示します。

水のない状態で、パルセーターが回転して布量検知をします。表示された水量を参考に洗剤類を入れてください。

布量検知するコース **「標準」「自分流」「おいそぎ」「すすぎ1回」コース**

洗濯物がぬれている場合	布量を多めに判定します
洗濯・脱水槽内にはじめから水が入っている場合	布量検知をしません 46L【45L】に設定されます ➡洗濯量に応じた水量を設定してください。
お好み設定で「すすぎ」からスタートした場合	

【　】は、AQW-S5Bの場合

お知らせ

- 洗濯・脱水槽内に入る実際の水量は無段階のため、水量表示と異なることがあります。
- 必要に応じて、水量を調節してください。➡P5・19

洗剤類の使いかた

■使用量（目安）

水量	洗濯量【乾燥布】（上限）	洗剤の目安※	合成洗剤 液体						合成洗剤 粉末		石けん 液体	柔軟剤			酸素系液体漂白剤	
			←水 30L に対する使用量（洗剤の容器の表示をご確認ください）→													
			10mL	13mL	25mL	27mL	30mL	おしゃれ着用液体中性洗剤 40mL	22g	30g	50mL	7mL	10mL	16mL	20mL	40mL
46L (AQW-S6B)	6kg		15mL	20mL	38mL	41mL	46mL	61mL	34g	46g	77mL	11mL	15mL	25mL	31mL	61mL
45L (AQW-S5B)	5kg		15mL	20mL	38mL	41mL	45mL	60mL	33g	45g	75mL	11mL	15mL	24mL	30mL	60mL
37L	3.5kg		12mL	16mL	31mL	33mL	37mL	49mL	27g	37g	62mL	9mL	12mL	20mL	25mL	49mL
30L	2kg		10mL	13mL	25mL	27mL	30mL	40mL	22g	30g	50mL	7mL	10mL	16mL	20mL	40mL
16L	0.5kg		5mL	7mL	13mL	14mL	16mL	21mL	12g	16g	27mL	4mL	5mL	9mL	11mL	21mL

※洗剤の目安：液体洗剤（水 65L に対しキャップ 1 杯のもの）のキャップを基準にしています。

- ジェルボールの使用量は、すべての水量に対して 1 粒が目安です。
- **「おいそぎ」コース**での洗剤の使用量は、上表の 7 割程度が適当です。
- **「すすぎ 1 回」コース**は、すすぎ 1 回と表記されている洗剤をお使いください。それ以外の洗剤を使用した場合、すすぎが不十分になります。
- 洗剤によりキャップまたはスプーン 1 杯の洗剤量が異なります。洗剤の容器に記載されている「使用量の目安」に従ってください。
- 洗剤類は、洗濯量と汚れの程度に応じて入れてください。
  - 汚れが多い場合は洗剤量を増やし、軽い汚れの場合は洗剤量を控えめにしてください。（軽い汚れとは、脂分をほとんど含まない汗やほこりのような汚れのことです）
  - 洗剤は入れすぎないようにしてください。すすぎが不十分になり洗濯物に残ったり、泡があふれたりすることがあります。
- 洗濯量は JIS（日本産業規格）規定の布地を使用した場合のものです。洗濯物の厚さ・大きさ・種類により洗える量が変わります。布の動きが悪いときは、洗濯量や水量を調節してください。
- 上表以外の使用量は洗剤などの容器の記載に従ってください。

ご注意
- プラスチック部分に洗剤・柔軟剤・漂白剤が付いた場合は、水を含ませたやわらかい布ですぐに拭き取ってください。放置するとプラスチック部品を傷める原因になります。特に濃縮液体洗剤はプラスチック部品が割れるおそれがあります。

粉石けん・液体石けん　溶け残りを防ぐため、あらかじめ溶かしてください

洗濯・脱水槽内で溶かす場合

1 水栓を開き、（電源 切/入）電源を入れる

2 （コース）「標準」を選び、（水量）「16L」・（洗い）「3 分」を設定する

3 （スタート 一時停止）スタートする

4 給水が止まったら、（スタート 一時停止）一時停止し、石けんを「洗濯・脱水槽」内に均等に入れる

5 上ぶたを閉め、（スタート 一時停止）再スタートする

- 運転終了後、電源を入れ直し、使用するコースや水量を設定し、洗濯物を入れて洗濯を始めてください。

溶けにくい場合

1 バケツなどに約 30℃のぬるま湯を約 5L 入れる

2 十分かきまわしながら、石けんを少しずつ入れる

3 固まったり、粒が残ったりしないようによくかき混ぜ、「洗濯・脱水槽」内に入れる

- 水栓を開き、電源を入れ、使用するコースや水量を設定し、洗濯物を入れて洗濯を始めてください。

お願い
- 石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすく、黄ばみや臭いの原因になります。すすぎは十分に行ってください。
- 入れすぎたり低温の水では、完全に溶けずに石けんが洗濯物に残ることがあります。また、排水ホースや洗濯・脱水槽内に残った石けんが浮き上がり洗濯物を汚すことがあります。そのようなときは、洗濯槽クリーナー（SWCLEAN-3）を使って「槽洗浄（12 時間）」コース ➡P21 でお手入れしてください。
- **予約時は、粉石けん・液体石けんを使わないでください。**（固まるおそれ）

洗剤類の使いかた（つづき）

液体洗剤・液体漂白剤

液体洗剤

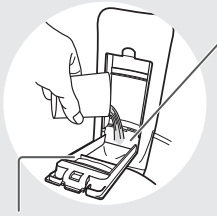
「液体洗剤注入口」に入れる

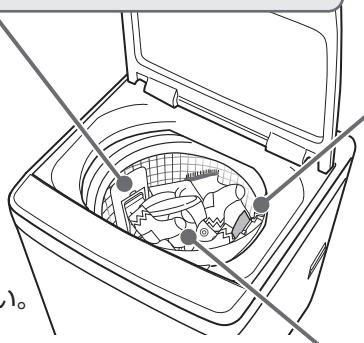
- すぐに洗濯する場合は、液体洗剤を「洗濯・脱水槽」内に入れることもできます。
- 粘性が高い場合はうすめてください。

液体漂白剤

3倍の量の水でうすめ、「液体洗剤注入口」に入れる

- 塩素系漂白剤を直接、「洗濯・脱水槽」内に入れたり、洗濯物にかけたりしないでください。（変色・布破れの原因）
- 予約時は酸素系漂白剤をお使いください。





ご注意

- 重曹は使わないでください。（故障の原因）
- ジェルボール型洗剤・ビーズタイプの仕上げ剤は、「洗濯・脱水槽」内に直接入れてください。

お願い

- 操作パネル部にこぼさないようにしてください。
- 洗剤類を入れた後、糸くずフィルターを確実に閉めてください。（衣類が引っかかり破損するおそれ）

柔軟剤

「柔軟剤注入口」に入れる

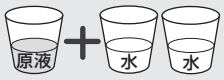
- 最終のすすぎで自動的に投入されます。
- すすぎ回数が1回でも自動的に投入されます。

1 「柔軟剤注入口」のカバーを開ける

- 入れにくい位置にあるときは、洗濯・脱水槽を手で右方向（時計回り）に回してください。重く感じることもありますが、右方向へ回すと位置は変わります。

2 柔軟剤を入れる

- 濃縮タイプは、2倍の量の水でうすめ、よく混ぜてから入れてください。（固まるおそれ）



3 カバーを閉める

- 「カチッ」と音がするまで上から押し、確実に閉めてください。
- 開けたまま運転すると給水時に水が入り、柔軟剤が流れ出る場合があります。

- 洗濯物を入れるときは、カバーは必ず閉めてください。（洗濯物に引っかかりカバーがはずれる原因）
- 柔軟剤は入れすぎないでください。（衣類の黒ずみの原因）
- 柔軟剤を入れた後、長時間放置しないでください。（固まるおそれ）
- すすぎ行程の脱水中に一時停止しないでください。柔軟剤の投入時期が早まり、有効にはたらきません。

粉末合成洗剤・粉末漂白剤

「洗濯・脱水槽」内に直接入れる

予約時の洗剤類の入れかた ➡P18

のりづけ　洗濯容量 1.5kg以下

使用できるのり	洗濯機用の化学合成のり（酢酸ビニール系） ● 故障の原因になるため、上記以外は使わないでください。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 電源切/入 電源を入れる

3 コース「標準」を選び、水量「30L」・洗い「3分」・脱水「1分」を設定する

4 スタート一時停止 スタートする

5 給水が止まったら、スタート一時停止 一時停止し、洗濯のりを「洗濯・脱水槽」内に均等に入れる

6 上ぶたを閉め、スタート一時停止 再スタートする

7 運転終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出す

お願い

- のりづけした洗濯物は衣類乾燥機で乾かさないでください。（乾燥機のフィルター目詰まりの原因）
- 糸くずフィルターを掃除してください。たまった糸くずなどが、のりで固まって取れにくくなります。

糸くずフィルター ➡P22

のりづけ後は、洗濯・脱水槽を洗ってください

のりが残っていると、故障の原因になります。

1 洗濯物を取り出した後、電源切/入 電源を入れ、コース「標準」を選び、水量「46L【45L】」・洗い「6分」・脱水「1分」を設定する

2 上ぶたを閉め、スタート一時停止 スタートする

- 運転終了後、水栓を閉じてください。

【　】は、AQW-S5Bの場合

洗濯する

標準コース

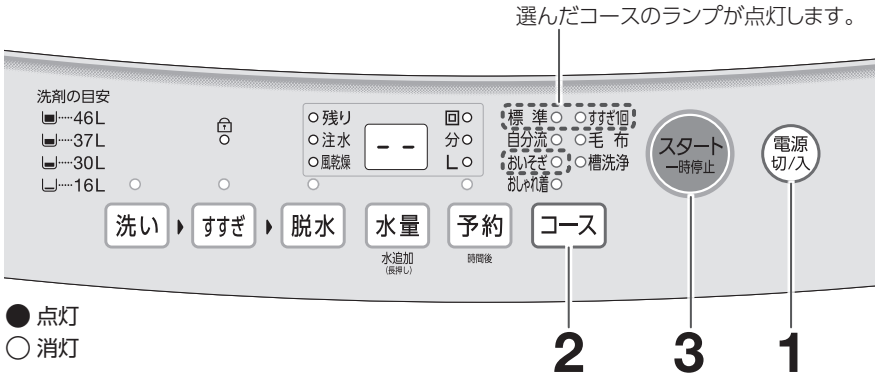
普段の洗濯に

おいそぎコース

軽い汚れの衣類を
手早く洗濯したいときに

すすぎ 1 回コース

すすぎ 1 回対応の洗剤を
使用するときに



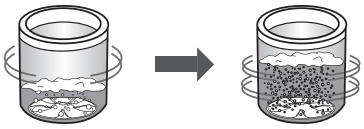
洗濯容量	6kg 以下 (AQW-S6B) 5kg 以下 (AQW-S5B)

お知らせ

- 「すすぎ 1 回」コースで、すすぎ 1 回対応の洗剤以外を使用した場合、すすぎが不十分になることがあります。
- スタートすると、運転したコースを自動的に記憶します。停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときも記憶しています。
- 「標準」コースは、洗いのはじめに 浸透濃縮行程 をします。
- 「おいそぎ」「すすぎ 1 回」コースは、洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類に吸収させるために少ない水量から「洗い」が始まります。
- 手順4 で 1 分間の待機時間中に、上ぶたを閉め スタート 一時停止 を 2 回押すと、待機をせず運転が始まります。

浸透濃縮行程

高濃度の洗濯液を繊維の奥まで浸透させるため、少ない水量からかくはんを始め、水を追加しながら洗います。
設定水位が低い場合は浸透濃縮行程を行いません。



高濃度洗剤液をつくる
パルセーター裏の羽根で洗剤を早く溶かし、高濃度洗剤液をつくる

浸透させて芯から白く
きめ細かい高濃度の泡が衣類を包み込んで汚れを芯から洗い落とす

準 備 水栓を開き、洗濯物を入れる

1 電源 切/入 **電源を入れる**

2 コース **使用するコースを選ぶ**

3 スタート 一時停止 **スタートする**

布量検知 ➡P8

- 水のない状態でパルセーターが回転し、布量検知を開始します。
- 検知後に水量を表示し、その後、残時間表示に切り替わります。

- -
検知中表示

4 **洗剤や柔軟剤を入れ、上ぶたを閉める**

(洗剤などは布量検知後の待機中 (約 1 分間) に入れてください。)

- 粉末合成洗剤は溶け残りを防ぐため、「洗濯・脱水槽」内に均等に入れてください。

洗剤類の使いかた ➡P9 ～ 10

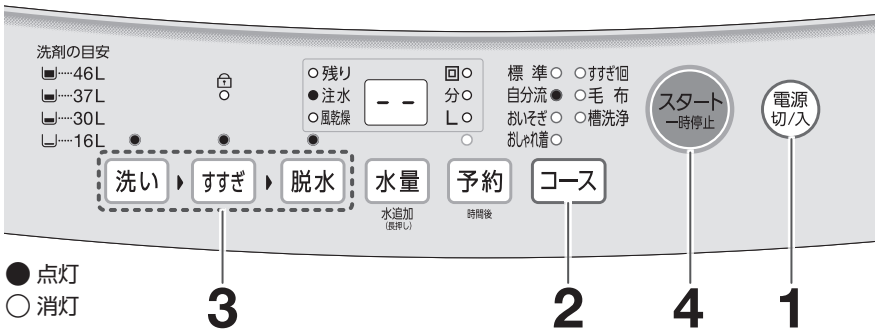
ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

自分流の運転内容を記憶させる

自分流コース

お好みの運転内容を記憶させることができます。次からは「自分流」を選ぶと前回設定した運転内容で運転することができます。



洗濯容量	6kg 以下 (AQW-S6B) 5kg 以下 (AQW-S5B)

購入時の設定

洗　い	15 分
すすぎ	注水 2 回 〔シャワー 1 回 + 注水 1 回〕
脱　水	10 分

お知らせ

- 洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類に吸収させるために少ない水量から「洗い」が始まります。
- スタートすると前回の設定は消え、新しい設定を記憶します。停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときも記憶しています。
- 手順5 で 1 分間の待機時間中に、上ぶたを閉め スタート を 2 回押すと、待機をせず運転が始まります。

準 備 水栓を開き、洗濯物を入れる

1 電源 切/入 電源を入れる

2 コース 「自分流」を選ぶ

- 記憶内容を表示します。変更がなければ **4** へ

3 洗い すすぎ 脱水 で洗い時間、すすぎ回数・方法、脱水時間を設定する ➡P17

- 必要に応じ、「風乾燥」を設定してください。

4 スタート 一時停止 スタートする

- 水のない状態でパルセーターが回転し、水量を表示します。

布量検知 ➡P8

5 洗剤や柔軟剤を入れ、上ぶたを閉める

(洗剤などは布量検知後の待機中（約 1 分間）に入れてください。)

- 粉末合成洗剤は溶け残りを防ぐため、「洗濯・脱水槽」内に均等に入れてください。

洗剤類の使いかた ➡P9 ～ 10

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

毛布・ふとんを洗濯する

毛布コース

必ず、大物洗い用洗濯ネット（CN-3）**をご使用ください。** 別売 ➡P33
使用しないと洗濯物が洗濯・脱水槽からはみ出し脱水中に異常振動し、洗濯物が傷んだり本体が故障したりする原因になります。その場合は保証の対象外になります。

洗濯できるもの

（新表示）

（旧表示）

左の取扱い表示がある毛布・ふとん

毛　布

- **アクリルまたはポリエステル100%の毛布**
  大きさ シングルサイズ(140cm×200cm)以下
  重さ　3kg以下
- **綿毛布**
  大きさ シングルサイズ(140cm×200cm)以下
  重さ　1.5kg以下のもの3枚まで

- **電気毛布・純毛の毛布は洗わないでください。**
  洗える電気毛布は、その説明書に従ってください。

ふとん

- **詰め物がポリエステル100%の夏掛けふとん**
  大きさ　140cm×190cm以下
  詰め物の重さ　0.7kg以下
  重さ　1.4kg以下
- **洗濯機で洗えると記載されている羽毛掛けふとん**
  洗濯後、臭いの残る羽毛ふとんは洗えません。
  目立たない部分に水をつけて確認してください。
  大きさ　150cm×210cm以下
  重さ　1.8kg以下

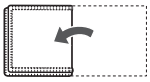
洗濯容量(上限)

毛　布……3 kg
綿毛布……4.5 kg
夏掛けふとん ……1.4 kg
羽毛掛けふとん ‥1.8 kg

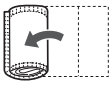
洗濯前の準備

- ゴミや糸くずは、取り除いておきます。
- 綿毛布を2枚以上入れる場合は、重ねて折りたたんでください。

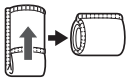
1 長い方を2つ折りにする



2 同じ方向に3つ折りにする



3 巻く



4 フチのある方を下に洗濯ネットに入れ、ひもを固くリボン結びにする

お願い

- 洗剤は、入れすぎないようにしてください。
  入れすぎるとすすぎが不十分になることがあります。
- 夏掛けふとん・羽毛掛けふとんは、水に浮かないように均一によく押し込んでください。

お知らせ

- 水量は 46L【45L】に自動設定されますが、37L に変更できます。
- 洗濯時間の短縮と洗濯液を毛布・掛けふとんに吸収させるために少ない水量から「洗い」が始まります。
- 厚手やサイズの大きいタオルケットも洗うことができます。

【　】は、AQW-S5Bの場合

準 備　水栓を開く

1 電源 切/入 電源を入れる

2 コース「毛布」を選ぶ

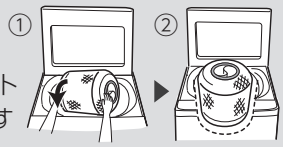
3 洗剤や柔軟剤を入れる

洗剤類の使いかた ➡P9 ～ 10

- 粉末合成洗剤は、溶け残りをなくすため、約 30℃のぬるま湯（約 5L）に入れ、よく溶かしてください。溶かさずに入れると、白く残ることがあります。

4 洗濯ネットに入れた毛布などを入れる

- 入れにくいときは…
  ①横向きに入れる
  ②洗濯・脱水槽内で、洗濯ネットの口側が上になるように起こす



5 上ぶたを閉め、スタート 一時停止 スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

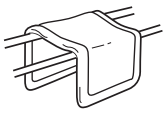
洗濯が終わったら

取り出すときは
洗濯ネットのひもをほどき、毛布・掛けふとんの中心部を持って引き出す

▶▶▶

乾燥は
風通しのよい日陰で自然乾燥、または毛布乾燥機能のある衣類乾燥機で乾燥する

- 毛布は生乾きのうちにブラッシングするときれいに仕上がります。
- 綿毛布・掛けふとんの乾燥は、その取扱い表示に従ってください。



デリケートな衣類を洗濯する

おしゃれ着コース　デリケートな衣類の洗濯に適しています。衣類の縮みを防ぐためにやさしく洗います。

洗濯できるもの

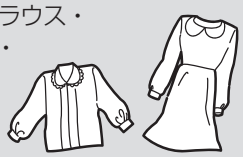
(新表示) (旧表示)

左の取扱い表示があるデリケートな衣類

※これらの取扱い表示があっても洗えないものがあります。 ➡P6

- ウール・アンゴラ・カシミヤのセーター・カーディガンなど

- 絹・麻のブラウス・ワンピース・シャツなど



- 学生服・セーラー服・スラックス・スカート・ジャンパー・カーテンなど

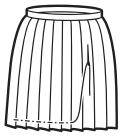
洗濯前のチェック

初めて洗う衣類は、色落ちしないか確かめる

- 洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認してください。
- スカーフや外国製の衣類には色落ちしやすいものがあります。

毛素材などでプリーツ加工のものは、開かないように糸で留める

- 糸は乾いてから取ってください。



ボタン・刺しゅうが付いている衣類は裏返す

シミや部分汚れがないか確かめる

- シミは裏側にタオルをあて洗剤液を付け、一定方向にブラッシングしてください。

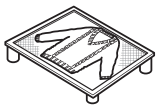
- ポケットまわり・そで口・えり・すその汚れは、洗剤液を付けブラシなどで軽くたたいて落としてください。

カーテンなどの大物以外は、洗い時間を 6 分以内にする

- 自動設定は、4 分になっています。(縮みを抑えるため)
- カーテンのフックは、必ずはずしてください。

干しかた

- 風通しの良い日陰に干してください。

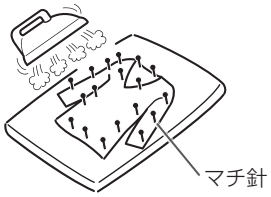
ウール・アンゴラ・カシミヤなどのセーター	絹・麻などのブラウス・ワンピース
 形を整え、裏返して平干し	ハンガー干し
スカート	**スラックス**
型を整えてハンガー干し(伸びやすいものは平干し)	折り目を合わせてハンガー干し

縮んだとき

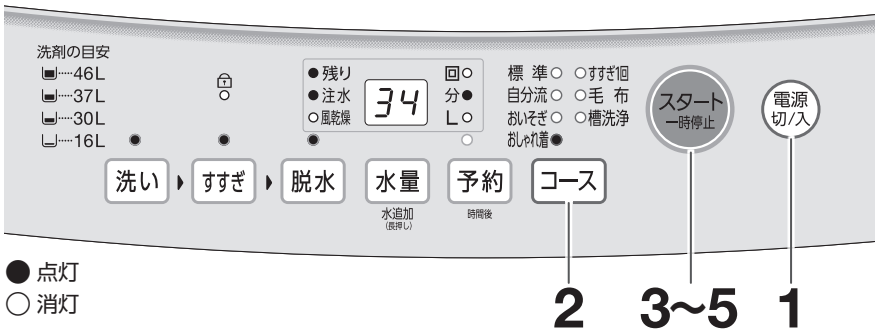
1 伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打つ

2 スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをたっぷりかける

3 乾くまでそのままにしておく



- 衣類購入時に型紙をとっておくと便利です。



● 点灯
○ 消灯

洗濯容量	1.2kg 以下

■洗える量の目安

水量	洗える量
46L【45L】	1.2kg 以下
37L 自動設定	
30L	0.5kg 以下

【　】は、AQW-S5Bの場合

■重さの目安

ブラウス
約 200g

セーター
約 300g

スラックス
約 400g

お願い

- 洗濯終了後、すぐに衣類を取り出し、陰干ししてください。長時間放置するとシワや縮みの原因になります。

お知らせ

- 水量は 37L に自動設定されます。
  お好みで変更できますが、布傷みを防ぐため 16 Lは設定できません。

準 備 水栓を開く

- 30℃以下の水を使用してください。

1 電源 切/入 電源を入れる

2 コース「おしゃれ着」を選ぶ

3 スタート 一時停止 スタートする

4 給水が止まったら、スタート 一時停止 一時停止し、

おしゃれ着用液体中性洗剤を「洗濯・脱水槽」内に入れ、手で軽く混ぜる

- 必要に応じ、柔軟剤を入れてください。

洗剤類の使いかた ➡P9 ～ 10

5 洗濯物をたたんで水中に押し込み、

上ぶたを閉め、スタート 一時停止 再スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

風乾燥（槽乾燥）をする

洗濯・脱水槽の高速回転で大量の風をとり込み、ヒーターを使わない省エネ方式で洗濯物の水分を飛ばします。少量の化繊衣類の乾燥や、洗濯物の干し時間の短縮に使用します。洗濯・脱水槽の乾燥にも使えます。

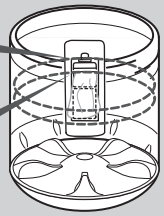
風乾燥できるもの

（例）

トレーニングウェア　ワイシャツ　作業服

ほぼ乾燥できる容量：化繊 1.5kg以下

1.5kgの目安　押さえて入れたとき



乾いた洗濯物
糸くずフィルターの上端

脱水後の湿った洗濯物
糸くずフィルターの袋の上端

風乾燥できないもの

以下の取扱い表示があるもの

（新表示）

（旧表示）

- **色落ちしやすい衣類**
- **ウールの衣類**
- **シワが気になる衣類**（綿 100% シャツなど）
- **型くずれしやすい衣類**（肩パット入りなど）
- **防水性のマット・シートや衣類など** ➡P3
- **毛布・掛けふとん・シーツ**

洗濯容量	化繊 1.5kg 以下
風乾燥時間	30 分・60 分・2 時間・3.5 時間

お知らせ

- 洗濯物の入れすぎは、乾燥不足や、シワ、飛び出しによる破れの原因になります。
- 洗濯物の量・種類、室温、湿度、設置環境により仕上がり具合が変わります。
- 乾きムラや乾燥不足があるときは、その程度に応じて再度運転してください。
- ヒーターを使わないため、洗濯物が冷たく、乾いていないように感じる場合があります。
- 洗濯物をほぐすために定期的にかくはん運転をします。
- 「自分流」コースでは「風乾燥」を記憶します。
- 3.5 時間を選ぶと 4H と表示します。
- 「おしゃれ着」「毛布」「槽洗浄」コースでは、設定できません。
- 手順6 で 1 分間の待機時間中に、上ぶたを閉め スタート一時停止 を 2 回押すと、待機をせず運転が始まります。

■槽乾燥をする

槽乾燥時間	60 分

- 洗濯物を入れずに電源を入れ、「風乾燥のみ」の **2・4・5** の行程を行ってください。
- 手順4 で 60 を選んでください。

洗濯コース+風乾燥

準備　水栓を開き、洗濯物を入れる

1 電源切/入 電源を入れる

2 コース 使用するコースを選ぶ

3 洗い すすぎ で洗い時間、すすぎ回数・方法を選ぶ

4 脱水 で風乾燥時間を設定する

30分 → 60分 → 2時間 → 3.5時間

5 スタート一時停止 スタートする

6 洗剤や柔軟剤を入れ、上ぶたを閉める

洗剤類の使いかた ➡P9～10

洗剤などは布量検知後の待機中（約 1 分間）に入れてください。

風乾燥のみ

準備　乾かしたい洗濯物を入れる

- 「風乾燥のみ」の場合、洗濯物をほぐして片寄らないように入れてください。振動が少なく乾きが早くなります。

2 上ぶたを閉め、コース「標準」を選ぶ

ブザーが鳴ったら、運転終了

7 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除する

コースの運転内容を変更する【お好み設定】

各コースの運転内容をお好みで変更して、「洗い」「すすぎ」「脱水」を個別に組み合わせたり、
時間やすすぎ回数・方法などの内容を変更したりできます。ただし、変更した内容は記憶しません。

準備 水栓を開き、洗濯物を入れる

1 電源切/入 電源を入れる

2 コース 使用するコースを選ぶ

3 洗い すすぎ 脱水 で洗い時間、すすぎ回数・方法、脱水時間を設定する

- 必要に応じ、「風乾燥」を設定してください。

4 スタート一時停止 スタートする

5 必要に応じて洗剤や柔軟剤を入れ、上ぶたを閉める

洗剤類の使いかた ➡P9～10

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

操作方法
- 洗い すすぎ 脱水 このボタンを押して時間や回数を設定してください。
- 洗い すすぎ 脱水 このボタンを押して時間や回数を 0 に設定してください。

運転内容	標準・おいそぎ・すすぎ1回	自分流・おしゃれ着・毛布
洗いのみ 水は残ります。	洗い	洗い すすぎ 脱水
すすぎのみ 排水→脱水から始めます。 水は残ります。	すすぎ	洗い すすぎ 脱水
脱水のみ 水があれば、排水から始めます。	脱水	洗い すすぎ 脱水
洗い→すすぎ 水は残ります。	洗い すすぎ	洗い すすぎ 脱水
洗い→脱水	洗い 脱水	洗い すすぎ 脱水
すすぎ→脱水 排水→脱水から始めます。	すすぎ 脱水	洗い すすぎ 脱水
洗い→すすぎ→脱水	洗い すすぎ 脱水	洗い すすぎ 脱水
排水のみ	脱水 スタート一時停止 スタートし、洗濯・脱水槽の高速回転が始まったら、一時停止 ▼ ふたロックが解除されたら、電源切/入 電源を切って運転終了	洗い すすぎ 脱水

お知らせ

- 以下のコースの洗剤・洗濯物の入れかたは各ページを参照してください。
  - 「毛布」コース ➡P13
  - 「おしゃれ着」コース ➡P14～15
- 変更した内容は記憶しません。記憶させたいときは、「自分流」コースをご利用ください。
- 「標準」「自分流」「おいそぎ」「すすぎ1回」コースですすぎから開始すると、布量検知をしないで、水量は46L【45L】になります。必要に応じて変更してください。

【　】は、AQW-S5Bの場合

洗い時間

	洗うもの(例)
10分～13分	普通の汚れもの
14分～15分	汚れのひどいもの
0	洗いなし
1分～9分	軽い汚れのもの

すすぎ回数・方法

	標準・自分流	おいそぎ・おしゃれ着・すすぎ1回・毛布
1回	ため1回	ため1回
注水1回	注水1回	注水1回
2回	シャワー1回+ため1回	ため2回
注水2回	シャワー1回+注水1回	注水2回
3回	ため3回	ため3回
注水3回	注水3回	注水3回
0	すすぎなし	すすぎなし

- 注水すすぎは、はじめにためすすぎをします。

脱水時間

標準・自分流・おいそぎ・すすぎ1回	おしゃれ着・毛布
1分～15分	1分～15分
(風乾燥) 30分・60分 2時間・3.5時間	0
0	

予約運転をする

運転終了までの時間を予約できます。

お願い

- **水栓からの水もれがないか確認してください。**
- 色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。
- 衣類のシワ付きを防ぐため、運転終了後、すぐに干してください。

ジェルボール型洗剤

ぬれた洗濯物から離し、洗剤に水分がつかないようにしてください。
(洗剤が流れ出てシミ・色落ちの原因)

粉石けん・液体石けん

固まる場合があるため、使わないでください。

柔軟剤

予約時は長時間放置するため、衣類の上にこぼした場合は、水洗いしてください。落ちないときは、洗剤を付けてもみ洗いしてください。
(シミ・色落ち・傷みの原因)

漂白剤

酸素系をお使いください。塩素系は、変色や損傷の原因になるため、使わないでください。

お知らせ

- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときは、予約が取り消されます。
- 風乾燥は、運転終了までの時間を 5 ～ 24 時間の範囲で設定できます。
- 運転終了時間は、水道水圧・排水条件などで変わります。
- 「毛布」コースの洗剤・洗濯物の入れかた ➡P13
- 「おしゃれ着」「槽洗浄」コースでは、設定できません。

予約待機中の運転内容の確認	予約 を押す
予約の取り消し	電源を切る
予約の変更	電源を切り設定し直す

準備 水栓を開き、洗濯物を入れる

1 電源 切/入 電源を入れる

2 コース 使用するコースを選ぶ

- 必要に応じ、「水量」「風乾燥」を設定してください。

3 予約 運転終了までの時間を設定する

- 2 時間後から 24 時間後までを 1 時間単位で予約できます。

(例) 6 時間後に運転を終了させる場合

4 スタート 一時停止 スタートする

- 水のない状態でパルセーターが回転し、水量を表示します。(「毛布」コースを除く) 布量検知 ➡P8
- スタートして 1 分後、予約ランプ以外が消灯します。

5 洗剤や柔軟剤を入れ、上ぶたを閉める

洗剤類の使いかた ➡P9 ～ 10
予約時の洗剤類の入れかた ➡下記

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

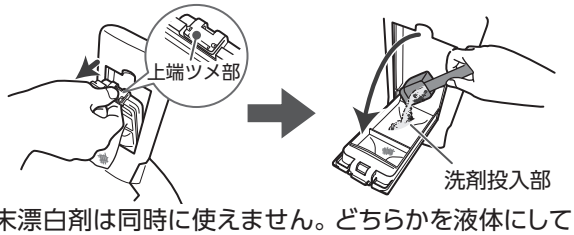
予約時の洗剤類の入れかた

粉末合成洗剤・粉末漂白剤

「糸くずフィルター」の「洗剤投入部」に入れる

開けかた

上端ツメ部を下に押さえながら手前に引いて開ける



- 粉末合成洗剤と粉末漂白剤は同時に使えません。どちらかを液体にしてください。
- 洗剤投入部がぬれていると洗剤類がこびり付くため、あらかじめ乾いた布で拭いてください。
- 糸くずフィルターの奥のすみには入れないでください。洗剤類が残ることがあります。
- 洗剤類を入れた後、糸くずフィルターを確実に閉めてください。

液体洗剤・液体漂白剤・柔軟剤

すぐに洗濯する場合と同じ場所に入れる ➡P10

ジェルボール型洗剤

「洗濯・脱水槽」内に入れる ➡P10

お願い

- 予約時は、粉石けん・液体石けんは使わないでください。
(固まるおそれ)

こんなとき

自動で決まる水量を増やしたい／減らしたい

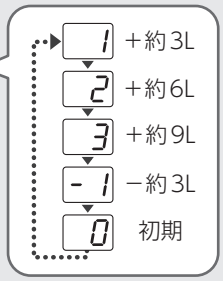
自動で決まる水量を、少なめや多めに調節することができます。洗濯する前にあらかじめ設定してください。

1 電源切/入 電源を入れ、水量 を押しながら、スタート一時停止 を約3秒間押し続ける

- 「ピッ」と鳴り、0（初期）を表示

2 水量 を押す

- 押すたびに調節する水量が変わります。
- 自動設定の最低水量 24L ～ 最高水量 46L【45L】の範囲内で調節されます。



3 スタート一時停止 を押す

4 電源切/入 電源を切る

- 電源を切っても、設定内容を記憶しています。

解除 設定時と同じ操作をする
- 0（初期）に設定する

【　】は、AQW-S5Bの場合

水を追加したい

「洗い」「すすぎ」の運転中に 水量 を長押しする

- 押している間、水を追加します。

- 水を追加しても水量表示は変わりません。
- 満水になると注水は止まります。

ほぐし仕上げをやめたい

1 電源切/入 電源を入れる

2 すすぎ と 脱水 を押しながら スタート一時停止 を約3秒間押し続ける

- 「ピッ」と鳴り、設定完了
- 電源を切っても、設定内容を記憶しています。

再度ほぐし仕上げしたいとき 設定時と同じ操作をする
- 「ピッピッピッ」と鳴り、設定完了

終了ブザー音を消したい

運転開始時、スタート一時停止 を約3秒間押し続ける

- 設定が完了すると「ピッ」と鳴り、運転が始まります。

- 運転終了後や電源を切った場合は、自動的に「終了ブザー音あり」に戻ります。
- 「終了ブザー音なし」の設定は毎回行ってください。

風呂の残り湯を使いたい

1 水栓を開き、電源切/入 電源を入れる

2 洗濯物と洗剤を入れ、使用するコースと水量を設定する

3 洗濯物がつかるまで残り湯（50℃未満）を洗濯・脱水槽に入れる
- こぼさないようにご注意ください。

4 上ぶたを閉め、スタート一時停止 スタートする
- 設定水量まで残り湯が入っていない場合は、水道水が追加されます。

洗濯液を 2 回使いたい

次の手順とお好み設定 ➡P17をお読みください。

汚れの軽いもの（1 回目）▶ 汚れのひどいもの（2 回目）の順に洗ってください。

1 1回目の洗濯物と洗剤を入れ、使用するコースで「洗い」のみ運転をする

2 洗濯物を取り出し、2回目の洗濯物を入れる
- 必要に応じて洗剤を追加します。

3 使用するコースと水量を設定し、「洗い→すすぎ→脱水」運転をする

4 運転終了後、2回目の洗濯物を取り出し、1回目の洗濯物を戻す
- 洗濯物は均等に入れてください。

5 使用するコースと水量を設定し、「すすぎ→脱水」運転をする

こんなとき（つづき）

凍結のおそれがある

脱水運転終了後も、給水ホースや本体内部には水が少し残っています。気温が低くなると、その水が凍結してしまうことがあります。

凍結防止方法

その1 凍結防止（残水排水）設定をする

脱水運転が終了して約9分後、残水を自動で排水します。
設定すると運転終了から10分間 Ud を表示します。

1 電源切/入 電源を入れる

2 脱水 と スタート一時停止 を約3秒間押し続ける

- 「ピッ」と鳴り、設定完了

- 電源が切れると設定は解除されます。
- 凍結防止設定は毎回行ってください。

その2 給水ホース・本体内部の水を抜く

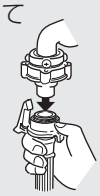
1 水栓を閉じ、上ぶたを閉める

2 電源切/入 電源を入れ、コース「おしゃれ着」を選ぶ

3 スタート一時停止 スタートし、すぐに 電源切/入 電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

4 給水ホースの水栓側をはずし、給水ホース内の残水をバケツなどで受ける



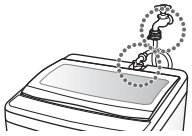
5 電源切/入 電源を入れ、コース「標準」を選び、脱水「1分」を設定する

6 スタート一時停止 スタートする

- 本体内部の水を排水するためです。

凍結したときは…

1 給水ホースの接続部を蒸しタオルで包む



2 水栓を閉じ、給水ホースをはずし、お湯（50℃未満）につける

3 約2Lのお湯（50℃未満）を洗濯・脱水槽に入れ、約10分間放置する

4 給水ホースをつないで水栓を開き、次の内容を確認する

- 手でパルセーターが回せるか
- 運転して給水・排水するか

お手入れ

汚れたら 本体

水滴・糸くず・汚れが付いたら…

水を含ませたやわらかい布で拭いてください。

- 汚れがひどい場合は、うすめた台所用中性洗剤または石けん水を付けて拭き取った後、絞ったやわらかい布で水拭きしてください。

ご注意

- 上ぶたなどのプラスチック部分や本体に、洗剤・漂白剤・柔軟剤が付いた場合…
  水を含ませたやわらかい布ですぐに拭き取ってください。放置するとプラスチック部品が割れる原因になります。

- 住宅用合成洗剤・クレンザー・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。プラスチック部品を傷めます。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- 上ぶた（ガラス面）に薬品やガラスクリーナーなどを使わないでください。周辺部品のさびや破損の原因になります。

給水時間が長くなったら / E1を表示したら 給水口

給水口にゴミがたまると、水の出かたが悪くなります。

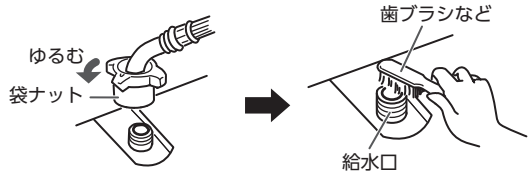
1 水栓を閉じ、電源切/入 電源を入れる

2 コース「おしゃれ着」を選ぶ

3 スタート一時停止 スタートし、すぐに 電源切/入 電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

4 袋ナットをゆるめてはずし、ゴミを取り除く

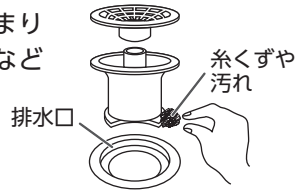


5 袋ナットを傾きのないように確実に締め付ける
（傾いて取り付けると水もれの原因）

月1回程度 / E2を表示したら 排水口

排水口には糸くずや汚れがたまりやすいため、定期的に糸くずなどを取り除いてください。

- 放置すると臭いや水もれ、排水できない原因になります。



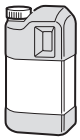
汚れ・臭い

■汚れ・臭いを防ぐ

- 使わないときは上ぶたを開放し、洗濯・脱水槽の水分を取り除いてください。
- 1週間に1回程度「槽乾燥」を運転して、洗濯・脱水槽の水分を取り除いてください。 槽乾燥をする➡P16
- 1～2カ月に1回程度、衣類用塩素系漂白剤や市販の塩素系洗濯槽クリーナーを使って「槽洗浄（3時間）」コースでお手入れしてください。

■汚れ・臭いが発生したら…

- 本製品は「自動おそうじ」を行いますが、汚れの種類や程度によっては洗い流せない場合があります。茶色い汚れが洗濯物に付く、洗濯・脱水槽から臭いが発生するなどの場合は、別売の洗濯槽クリーナー（SWCLEAN-3）別売➡P33を使い「槽洗浄（12時間）」コースでお手入れしてください。



槽洗浄コース

所要時間	約3時間 約12時間

洗濯槽クリーナーを使うときは

- 換気を十分にしてください。
- 洗濯槽クリーナーの説明書をよくお読みください。
- ゴム手袋などをして肌を保護してください。

お願い

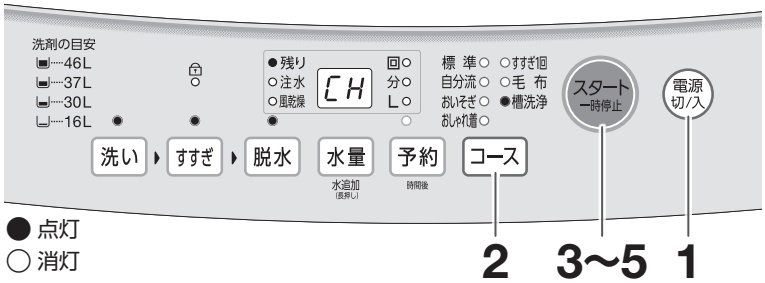
- 酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使わないでください。泡が大量に発生し水もれの原因になります。

お知らせ

- 運転内容の変更はできません。

■使用するクリーナー

コース	使用するクリーナーの種類	使用量
槽洗浄 3時間	市販の塩素系洗濯槽クリーナー	容器に記載の使用量
	衣類用塩素系漂白剤	200mL
槽洗浄 12時間	洗濯槽クリーナー 別売➡P33	全て（1.5L）



● 点灯
○ 消灯

準備 水栓を開く

- 糸くずフィルターが掃除されていることを確認してください。
- 洗濯物は入れないでください。

1 電源 切/入 電源を入れる

2 コース「槽洗浄」3時間 3H または 12時間 CH を選ぶ

3 スタート 一時停止 スタートする

4 給水が止まったら、スタート 一時停止 一時停止し、市販の塩素系漂白剤または洗濯槽クリーナーなど（左表「使用するクリーナー」参照）を「洗濯・脱水槽」内に入れる

5 上ぶたを閉め、スタート 一時停止 再スタートする

- 約2時間または約11時間つけおきをします。その後、洗い・すすぎ・脱水をします。

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。
- 運転後、浮き出た洗剤カスは拭き取ってください。

さび

■さびを防ぐ

- 赤さびの混じった水やヘアピンなど、さびやすいものを入れないでください。
- 水を入れたまま長時間放置しないでください。

■さびが付いたら…（もらいさび）

- **やわらかい布かスポンジに、市販のクリームクレンザーを付けてさびを拭き取ってください。**
  洗濯・脱水槽を傷めるため、金属たわしなどは使わないでください。

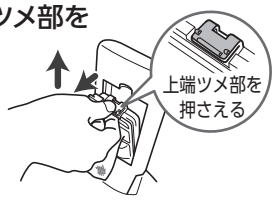
お手入れ（つづき）

運転後毎回

糸くずフィルター（洗剤投入部）

ネットが目詰まりすると、ゴミが取れにくくなります。

1 糸くずフィルターの上端ツメ部を下に押さえながら手前に引き、上に引き抜く

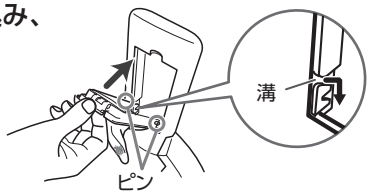


2 ネットを裏返して糸くずを取り除いてから、水中でネットを洗う

- 裏返したネットは、元どおりにしてください。

（ネットが乾いているときは、水中でなくても、ネットを裏返すと簡単にゴミをはがし取ることができます。）

3 糸くずフィルターのピン２カ所を洗濯・脱水槽内の溝に差し込み、上端ツメ部を押し込む



お願い

- 必ず確実に取り付けて洗濯してください。（衣類が傷む原因）
- お手入れは毎回行ってください。糸くずをためたまま洗濯をするとネット部の寿命が短くなったり、糸くずが逆流して洗濯物に付いたりする場合があります。
- 消耗部品のため、ネットが破れたときは、お買い上げの販売店にてお買い求めください。 別売 ➡P33

据え付け

据え付けは販売店または専門業者にご依頼ください。

この据え付けかたどおりに設置・取り付けをしないと事故・損害を生じても当社は一切責任を負えません。

据え付け前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
据え付け前に、排水口の掃除をしてください。（排水口に糸くずや汚れがたまっていると、臭いや水もれ、排水できない原因）
据え付け後は、必ず試運転 ➡P29 をして、水もれや異常音が発生しないことを確認してください。

1 据え付け場所の確認

⚠ 警 告

浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
（感電・漏電火災の原因）

- 本体を移動するときは側面のとっ手を持ってください。本体を引きずると脚ゴムがはずれ、運転中に振動・異常音が発生するおそれがあります。
- 洗濯・脱水槽に水滴が残っていたり排水ホースから水が出たりすることがありますが、工場での検査時のものです。故障や不良ではありません。

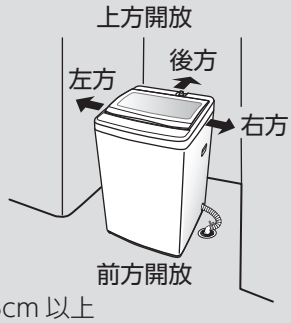
次のような場所には、設置しない

- **直射日光のあたる場所**
  （プラスチック部品の変色・変形の原因）
- **冬期に凍結のおそれのある場所**
- **平らでない床・弱い床・タイルなどのすべりやすい床の上**
  振動や騒音が大きくなります。床が弱いときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **ブロック・レンガ・角材やキャスター付きの台の上などの不安定な場所**
  （振動や騒音、本体が倒れる原因）
- **高い置台の上**
  （振動による本体の落下により、けが、本体・壁・床の破損、水もれなどの原因）

本体は前方や上方を開放し、壁から表の寸法以上離すこと

異常な振動や音を防ぐためです。

場所	離隔距離(cm)
左方	※1.5
右方	※1.5
後方	1.5
下方	0



※排水ホース側は、壁から 8cm 以上
真下排水パイプを使用した場合、排水ホース側は壁から 15cm 以上

テレビ・ラジオなどの家電製品に近付けない
（画像の乱れ・雑音の原因）

包装用台座は据え付け台として使わない
（本体故障の原因）

洗濯機トレーの使用をおすすめします

気温と水温の差が大きいと、本体の内側に結露（露付き）が生じます。この結露や水はねで床がぬれるのを防ぐためです。別売 ➡P33

据え付け（つづき）

2 底カバーの取り付け

⚠ 警 告

底部から手足が入る場合は、付属の底カバーを取り付ける
（回転部などで手足のけがや感電の原因）

お願い

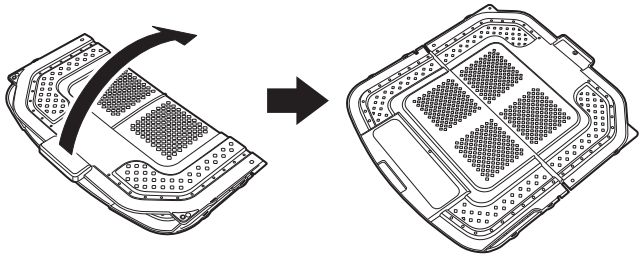
排水ホースを右側に付け換えるときは、底カバーを取り付ける前に排水ホースの付け換え作業をしてください。

1 毛布などを敷き、本体を後側へ静かに倒す（上ぶたが開かないようにテープなどで固定する）

お願い

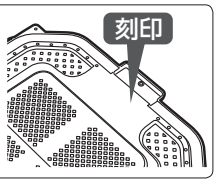
- 上ぶたが勢いよく開き、けがをするおそれや、部品の破損や故障の原因になりますので静かに倒してください。

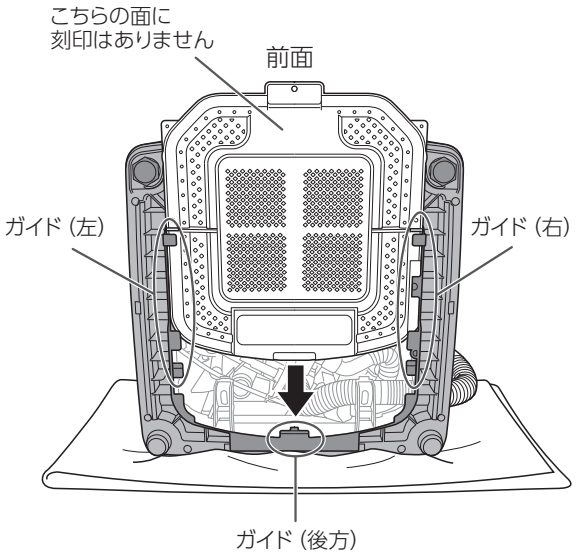
2 底カバーを開く



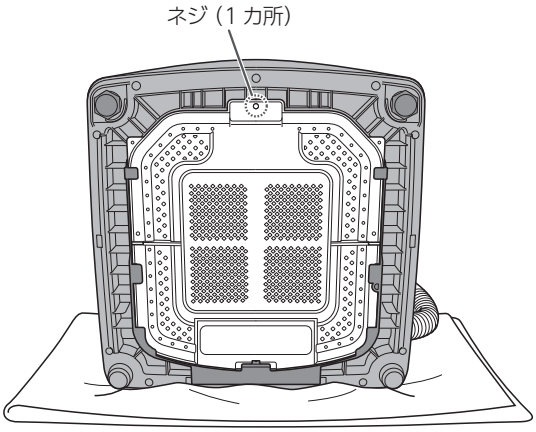
3 本体のガイド（左・右）に沿って底カバーを差し込み、ガイド（後方）に当たるまで押し込む

底カバーは刻印（「UP」「FRONT」）のある面が本体の内側になるように差し込む





4 ネジを締め固定する



5 本体をゆっくり起こす

お知らせ

- 底カバーとネジは同じ袋に入っています。

取り付けなくてもよい場合でも、引っ越しなどで必要になる場合がありますので、底カバーは大切に保管してください。

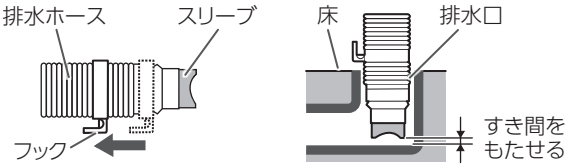
据え付け（つづき）

3 排水ホースの処理

排水ホースを排水口に差し込む

フックをずらし、排水口に差し込む

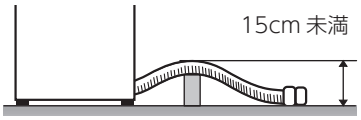
スリーブは、排水ホース先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けてご使用ください。



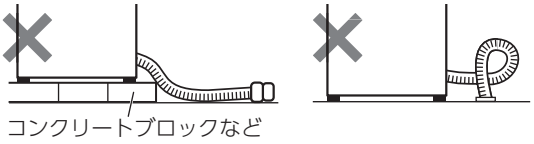
排水ホースは、排水時の水の力や振動などで動く場合がありますので、排水口にしっかり差し込み抜けないことを確認してください。

お願い

- 敷居などで排水ホースが高くなると、排水できないことがあります。途中の立ち上がりは 15cm 未満にしてください。



- 排水ホースがよじれたり、つぶれたり、浮き上がったり、コンクリートブロックなどでこすれたりしないように処置してください。
（排水できない、水もれする原因）

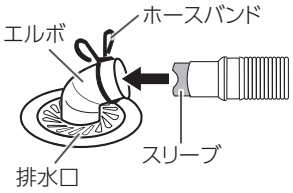


（ホースが破れるおそれ）　（排水が悪くなるおそれ）

排水口がエルボの場合

排水ホース先端部をエルボにしっかり差し込み、別売のホースバンドで確実に固定してください。

別売 ➡P33



- スリーブははずさないでください。

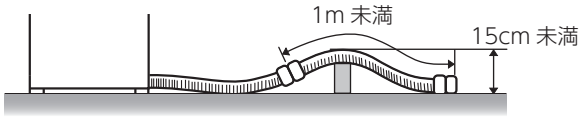
排水ホースを延長する場合

別売の**排水ホース補修キット**をお買い求めのうえ、取り付けてください。

別売 ➡P33

排水ホースを延長する場合や途中で高くなる場合は、次の表に従ってください。

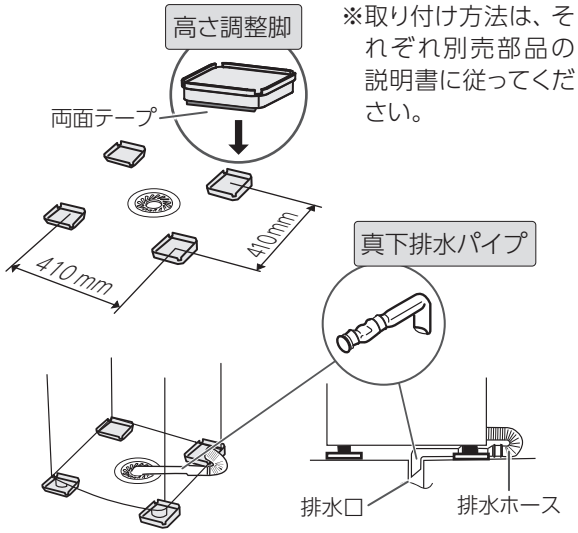
排水ホースの状態	排水ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	15cm 未満	1m 未満
途中で高くならない場合	―	3m 未満



排水口が本体の下にある場合

別売の**真下排水パイプ**と**高さ調整脚**をお買い求めください。

別売 ➡P33



※取り付け方法は、それぞれ別売部品の説明書に従ってください。

ご注意

- 本体下の排水口に直接排水ホースを接続することは、内部の回転部品に接触し、ホースの破れや異常音の原因になりますので絶対におやめください。

お願い

- 必ず高さ調整脚を敷いてください。本体が真下排水パイプに乗り上げて異常振動したり、破れて水もれしたりする原因になります。
- 洗濯パンのエルボがある場合は、エルボを取りはずして真下排水パイプをご使用ください。

3 排水ホースの処理（つづき）

排水ホースを右側に付け換える場合

出荷時、排水ホースは本体左側から引き出されています。排水口の位置が本体右側にある場合は、次の手順で付け換えてください。

⚠ 注 意

排水ホースの付け換え時には、必ず手袋をする
（けがの原因）

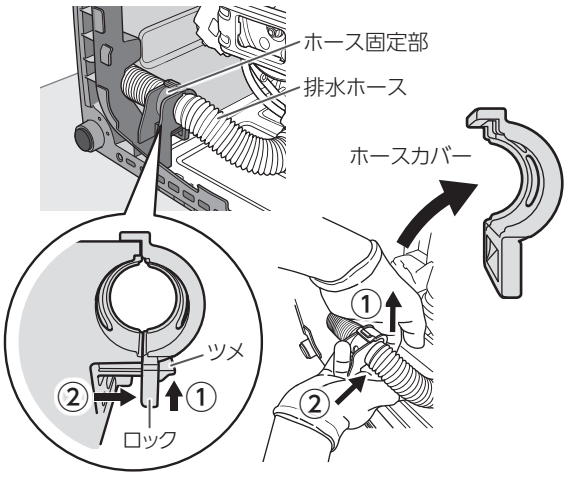
1 毛布などを敷き、本体を後側へ静かに倒す（上ぶたが開かないようにテープなどで固定する）

お願い

- 上ぶたが勢いよく開き、けがをするおそれや、部品の破損や故障の原因になりますので静かに倒してください。

2 ホース固定部から、ホースカバーをはずす

①ツメを上に押し上げながら、
②ロックを矢印方向に押してはずしてください。

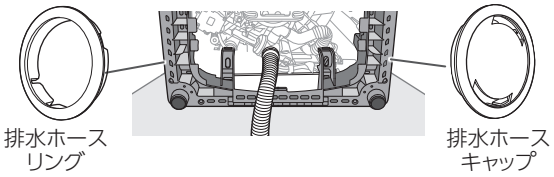


3 排水ホースを本体内側に引き抜く

ご注意

- 排水ホースを引き抜く際、排水ホースを傷付けないようにご注意ください。

4 本体左側の排水ホースリングと、本体右側の排水ホースキャップをはずす



排水ホースリング・排水ホースキャップのはずしかた

本体の内側から排水ホースキャップ、排水ホースリングのツメを強くつまみ、本体の外側に押し出してはずす。

5 4 ではずした排水ホースリングと排水ホースキャップをそれぞれ反対側にはめる

- 外側からはめる
- 「パチン」とツメのはまる音がするまで押し込む

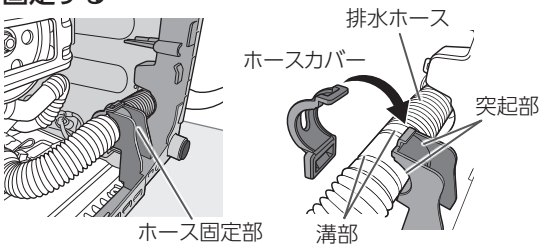
お願い

- 排水ホースリングは必ず取り付けてください。（水もれの原因）

6 排水ホースを本体右側の排水ホースリングから引き出す

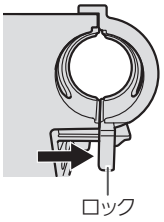
- 排水ホースがねじれないように引き出してください。

7 ホース固定部の突起部と排水ホースの溝部の位置を合わせ、2 ではずしたホースカバーで固定する



お願い

- ホースカバーは必ず取り付けてください。（水もれの原因）
- ホースカバーを取り付け後、ロックを矢印方向に押して、はずれないことを必ず確認してください。



8 本体をゆっくり起こす

9 フックをずらし、排水ホースを排水口に差し込む

- スリーブは、排水ホース先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けてご使用ください。

排水ホースを排水口に差し込む ➡P24

据え付け（つづき）

4 給水ホースの取り付け

- 給水ホース・マジックつぎ手は、付属品または当社専用の新品のものを使用してください。
- 水栓にはマジックつぎ手が使えるものと使えないものがありますので、ご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口から水もれがないか確認してください。

step1 水栓形状を確認する

横水栓	角口水栓	万能ホーム水栓	自在水栓	カップリング横水栓
○	△ 16mm以上必要です	× 取りはずす	× ここから水もれのおそれがあります	× 取りはずす 取り付けができてもストッパーが付いていないと使えません

付属の給水ホースからマジックつぎ手をはずし（「マジックつぎ手をはずす」参照）、取り付けてください。 ➡ step2

別売の給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けてください。 別売➡P33

②本体　①アダプター　パッキン　③給水ジョイント部

詳しくは、CB-J6の説明書をお読みください。

①②③を使用	①③を使用	③を使用

給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けた場合は、付属のマジックつぎ手を使用せず、直接給水ホースを取り付けてください。 ➡ step3

水栓の位置が低く、本体に水栓が当たる場合は、別売の壁ピタ水栓(CB-L6)を取り付けてください。 別売➡P33
水栓を交換する場合は工事が必要です。

オートストッパー水栓(洗濯機用)

壁埋め込み以外	壁埋め込みタイプ
○	○

ツバ　オートストッパー付　ロックレバー引っかけ部

給水ホースのロックレバーが引っかからない、しっかりと差し込めない、ぐらつくなどの場合は水栓メーカーにご確認ください。

直接、給水ホースを取り付けてください。
付属のマジックつぎ手は使用しません。 ➡ step3

給水ホースを取り付ける前に

給水栓ジョイント部

汚れ、異物、さび、傷など（水もれの原因）

必ず汚れなどをぬれた布などで拭き取ってください。汚れが取れなかったり、さびや傷がある場合は、水栓を取り替えてください。

マジックつぎ手をはずす

ロックレバーを押し、スリーブを引き下げて、マジックつぎ手から給水ホースをはずす

マジックつぎ手　ロックレバー　スリーブ　給水ホース

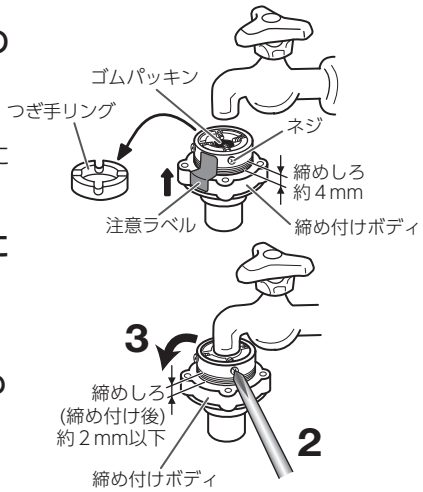
本書に記載している別売部品以外は、日本電機工業会規格 JEM1206 に準拠している水栓（オートストッパー付、ツバあり）をお使いください。水栓メーカーの洗濯機用水栓でも適合しないものがあり、水もれのおそれがあります（保証の対象外）。特にツバのないものは使用できません。ご不明な場合は、水栓メーカーにお問い合わせください。

step2 マジックつぎ手を取り付ける

1 ネジ(4本)をゆるめ、マジックつぎ手のゴムパッキンと水栓の先端を垂直に押し当てる
- 水栓の径が大きいときは、つぎ手リングをはずしてください。
- 注意ラベルは締め付けボディをゆるめた状態で貼ってあります。水栓にマジックつぎ手をネジで締め付けるまでは、はがさないでください。

2 水栓の先端がマジックつぎ手の中心になるようにネジを均等にしっかり締め付ける
- 壁側になるネジは前もって調節しておくと便利です。

3 注意ラベルをはがし、締め付けボディを矢印方向へ回して、締めしろが約2mm以下になるまで強く締め付ける
- 強く締め付けないと水もれするおそれがあります。



4 給水ホースの取り付け（つづき）

ご注意

- **取り付けかた・転居の際の取り替え・長期間の使用でゆるみが生じたなどで、水もれする場合**
  手順 1 の図のように締めしろを約 4mm にゆるめてから、取り付け直してください。
- **ゴムパッキンに蛇口の形が付いていたり、劣化していたりする場合**
  マジックつぎ手を取り替えてください。転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。
- **ゆるみ・ぐらつき・傾きがないか、確認してください。**
- **今までお使いのマジックつぎ手があっても、必ず新品と取り替えてください。**

お願い

- 水栓の形状が合わないときや取り付けができないとき、水もれが発生するときはお買い上げの販売店または水道工事店にご相談ください。

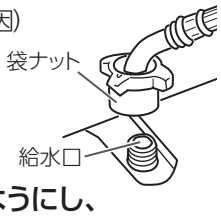
step3 給水ホースを取り付ける

本体側

袋ナット内のパッキンに異物が付着していたり、パッキンが斜めに取り付けられていたりしていないことを確認してください。（水もれの原因）

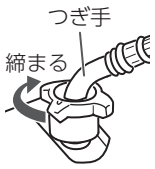
1 **給水ホースを引き回しやすいようにつぎ手の位置を決める**

2 **袋ナットを傾きがないよう給水口にあてがう**
（傾いて取り付けると水もれの原因）



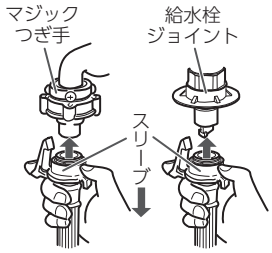
3 **給水ホースを動かさないようにし、袋ナットをしっかり締め付ける**

- 最後にもう一度、90～180度ほど増し締めしてください。
- つぎ手を回して増し締めしないでください。



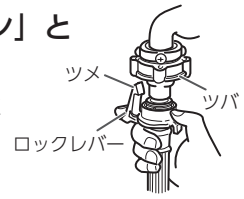
水栓側

1 **スリーブを引き下げたままマジックつぎ手**（または給水栓ジョイント / オートストッパー水栓）**に差し込む**



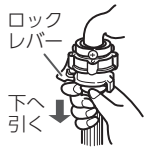
2 **スリーブを離し、「パチン」と音がするまで差し込む**

- ロックレバーのツメをツバに引っかけてください。
  （はずれると水もれの原因）



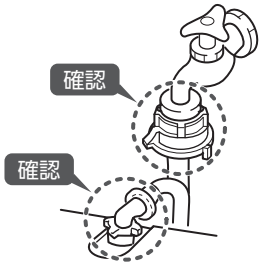
3 **給水ホースを下へ引き、完全に取り付けができているか確認する**

- ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。
  （はずれると水もれの原因）



ご注意

- **給水ホースを接続後、水栓を開き、給水ホースの接続部から水もれがないか確認してください。**
- **転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。**



給水ホースをはずす場合

水栓を閉じるだけでは水が飛び散りますので、次の手順を必ずお守りください。

1 **水栓を閉じ、（電源 切/入）電源を入れる**

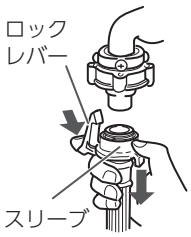
2 **［コース］「おしゃれ着」を選ぶ**

3 **（スタート 一時停止）スタートし、すぐに（電源 切/入）電源を切る**

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

4 **水栓側**

ロックレバーを押し、スリーブを引き下げたまま給水ホースをはずし、給水ホース内の残水をバケツなどで受ける



5 **本体側**

袋ナットをゆるめてはずす

給水ホースを延長する場合

お買い上げの販売店にご相談のうえ、別売の**給水延長ホース**をお買い求めください。 別売 ➡ P33

据え付け（つづき）

5 水平の確認と調整

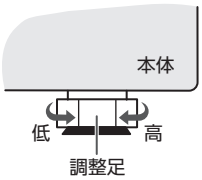
設置場所・設置面の状態により、本体が水平に置けない場合があります。以下の手順に従って、ガタつきをなくし、水平設置を確認してください。

ご注意

- 水平に設置できていないと本体の移動・異常振動・騒音・水もれ・故障の原因になります。必ず水平になるよう調整してください。

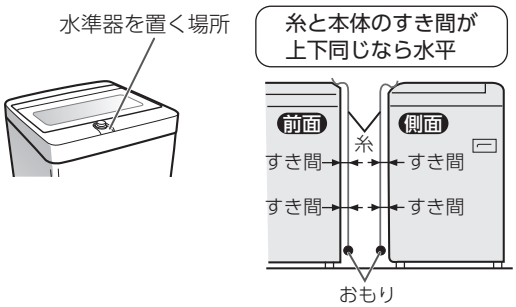
1 ガタつきがないように調整足（前面２カ所）の高さを調整する

- 本体を傾け前面を浮かし、調整足を回してください。



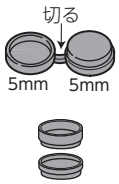
2 水準器で水平度を確認する

- 水準器がない場合は、おもりを付けた糸を図のように下げ、前面と側面の水平度を確認してください。



3 水平度に応じ、調整足または高さ調節クッションゴム（別売）で調整する

高さ調節クッションゴム 別売 ➡P33



- ２個セットになっています。切り離してご使用ください。
- １個で5mm、２個を重ねて1cmの高さ調節ができます。
- ２個重ねる場合、高さの低い方を下にして重ねてください。

4 本体上端の対角（右前・左後 および 左前・右後）を押さえて、ガタつきがないか確認する

5 上ぶたを開閉したときや本体が水栓などに接触していないか確認する

6 アース・電源 アース工事は有料です

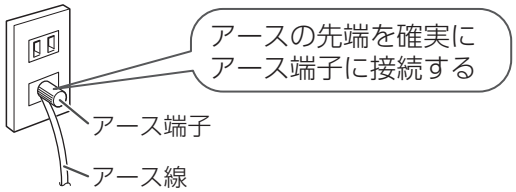
⚠ 警 告

アースを確実に取り付ける
（故障・漏電による感電の原因）

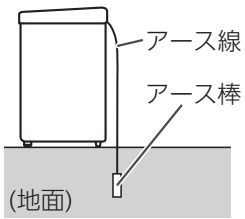
- 漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
- アースの付けはずしは、電源プラグをコンセントから必ず抜いて行ってください。
- 設置場所の変更や転居の際にも、アースの取り付けを必ず行ってください。

定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
電源プラグは根元まで確実に差し込む
（火災・感電の原因）

コンセントにアース端子がある場合



コンセントにアース端子がない場合



法令により電気工事士によるＤ種接地工事が必要です。お買い上げの販売店、または電気工事店にご依頼ください。

お願い

- ガス管・電話線や避雷針・水道管には接続しないでください。（法令などで禁止されています）

7 設置確認・試運転 必ず行ってください

設置確認

底カバー

- ☐ 底部から手足が入る場合、底カバーを取り付けていますか。

排水ホース

- ☐ 排水できますか。
- ☐ 排水ホースの先端がふさがれていませんか。
- ☐ 排水口が本体の下にある場合、別売の真下排水パイプと高さ調整脚を使用していますか。
- ☐ 排水ホースの立ち上がりは15cm未満ですか。
- ☐ 排水ホースによじれ・つぶれ・浮き上がり・こすれはありませんか。
- ☐ 排水ホースや接続部などから水もれしていませんか。

本体

- ☐ 水準器などにより本体を水平に設置しましたか。
- ☐ 本体の上端を対角（右前・左後、または左前・右後）に押さえて、ガタつきはありませんか。
- ☐ 調整足はしっかり締まっていますか。
- ☐ 上ぶたを開閉したときや本体が水栓などに接触していませんか。

給水ホース

- ☐ 給水ホース・マジックつぎ手は新品を使用しましたか。
- ☐ マジックつぎ手にゆるみ・ぐらつき・傾きがありませんか。
- ☐ 給水ホースの袋ナットは傾きがないように締めてありますか。
- ☐ 袋ナットが強く締まっていますか。
- ☐ 給水ホースにねじれや折れ曲がりがありませんか。
- ☐ 給水ホースの接続に余裕がありますか。
- ☐ 水栓側および本体の給水ホース接続部から水もれしていませんか。

アース・電源

- ☐ アースは確実に取り付けられていますか。
- ☐ 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使っていますか。
- ☐ 電源コードを製品本体で踏みつけたり、はさみ込んだりしていませんか。
- ☐ 電源コード・アース線が本体に接触していませんか。

試運転

- ☐ 試運転で、異常音や水もれはありませんか。正常に排水されていますか。

試運転

- 洗濯・脱水槽内には、**何も入れない**で次の手順で試運転をしてください。
- 水もれ・給排水の不具合・異常な音・本体のガタつき・揺れのないことを確認してください。

1 水栓を開き、（電源 切/入）電源を入れる

2 上ぶたを閉め、（スタート 一時停止）スタートする

- 約5分間洗い運転をし、水もれ、その他エラーなどの異常がないことを確認する。

3 （電源 切/入）電源を切る

4 もう一度（電源 切/入）電源を入れる

5 脱水「3分」を設定する

6 （スタート 一時停止）スタートする

- 異常音・振動がなく、その他エラーなどの異常がないことを確認する。

ブザーが鳴ったら、運転終了

- **異常な音、ガタつき、揺れはでていませんか。**
  設置状態にガタつきはありませんか。
- **水もれはありませんか。**
  給水ホース、排水ホースの接続部から水滴がにじんでいませんか。

こんな表示がでたら ➡P30

こんな表示がでたら

表示／状態	調べるところ	処置
E1 給水しない	● 水栓を開いていますか。 ● 給水口の網にゴミなどが詰まっていませんか。 ➡P20 ● 凍結していませんか。 ➡P20 ● 断水していませんか。 ● 井戸水を使っていませんか。 ➡P3	異常原因を取り除き スタートする
E2 排水しない	● 排水ホースを倒していますか。 ● 排水ホースがつぶれていませんか。 ● 排水ホースの立ち上がりは 15cm 未満になっていますか。 ➡P24 ● 延長ホースの長さは適切ですか。 ➡P24 ● 排水ホースを排水口に差し込みすぎて、排水ホースの先端がふさがれていませんか。 ➡P24 ● 排水口（フィルターやトラップ部）に糸くずなどが詰まっていませんか。 ➡P20 ● 凍結していませんか。 ➡P20	
U3 脱水しない	● 洗濯物が片寄っていませんか。 ● 洗濯ネットに厚手の衣類を入れていませんか。 ● 本体が傾いたり、ガタついたりしていませんか。 ➡P28 ● 排水ホースを排水口に差し込みすぎて、排水ホースの先端がふさがれていませんか。 ➡P24 ● 排水ホースを正しく取り付けてください。（「E2」の内容を確認してください。） ● 排水口（フィルターやトラップ部）に糸くずなどが詰まっていませんか。 ➡P20	
E41 E42 E44 ふたロック関係異常	● 上ぶたはしっかり閉まっていますか。 ● すすぎ・脱水・風乾燥運転時やチャイルドロック設定時に上ぶたを無理に開けませんでしたか。	

E41・E42・E44 表示で調べても直らない場合は、ふたロック装置の故障のおそれがあります。
電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じてお買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼してください。

U4 運転しない（一時停止している）	● 上ぶたが開いていませんか。	上ぶたを閉める （チャイルドロック設定中は上ぶたを閉めスタートする）
UL 上ぶたが開かない	● チャイルドロックを設定していませんか。 ➡P4	
Ud 運転後表示する	● 凍結防止（残水排水）設定をしていませんか。 ➡P20	
E7 EA EU など	制御部品の点検や修理が必要です。 電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じてお買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼してください。	

修理を依頼する前に　初期化をお試しください

本体が、外部からの雑音や妨害ノイズの影響を受けて、正常に作動しない場合があります。次の手順に従い初期化を行ってください。購入時の設定内容に戻ります。

初期化の方法

1. 電源 切/入　電源を入れる
2. 予約　約5秒間押し続ける
   ●「ピッ」と鳴り、初期化が完了
3. 電源 切/入　電源を切る

もう一度電源を入れて、動作を確認してください。

なお、異常があるときは、内部を触らずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じてお買い上げの販売店、または当社修理相談窓口 ➡P35 にご連絡ください。

お願い
● 故障などで、洗濯途中の洗濯物を長期間放置すると色落ち・色移りすることがあります。
洗濯物は手洗いなどをしてください。

故障かな?

修理依頼やお問い合わせの前に、以下をご確認ください。

	状　態	原　因 ／ 調べるところ
本体	運転しない	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでいますか。 ● 電源が入っていますか。 ● 「スタート / 一時停止」ボタンを押しましたか。 ● 予約中ではないですか。 ● 水栓を開いていますか。 ● 停電していませんか。 ● ご家庭のヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。
	運転中や電源を切っても 操作パネル部が熱を持っている	● 部品の放熱作用によるものです。故障ではありません。
洗い・すすぎ	給水前にパルセーターが回転する	● 洗濯量を検知しているためです。　布量検知 ➡P8
	少ない水量で パルセーターが回転する	● 「標準」コースでは浸透濃縮行程を行います。 ➡P11 ● 「自分流」「おいそぎ」「すすぎ 1 回」「毛布」コースでは洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類に吸収させるために少ない水量から「洗い」が始まります。
	途中で給水する	● 水量や洗濯物の状態を検知し、うまく洗濯できるように補給水機能がはたらいたためです。次の原因が考えられます。 ・ 洗濯物を後から追加した。 ・ 水量が減り、それを自動的に補う機能がはたらいた。 ● 「標準」コースで浸透濃縮行程中は、水を追加しながら洗います。 ➡P11
	注水すすぎなのに ためすすぎになる	● 給水量が多い場合は、洗濯・脱水槽からあふれるのを防ぐため、ためすすぎになります。 ● 注水すすぎは、はじめにためすすぎをします。
	すすぎからスタートすると 給水しない	● 排水→脱水してから、すすぎの給水を始めます。
	スタートしても すぐに運転が始まらない	● 布量検知後、洗剤を投入するために 1 分程度待機時間を設けています。故障ではありません。すぐに運転したい場合は、上ぶたを閉めた後、「スタート / 一時停止」ボタンを 2 回押してください。
脱水	はじめから高速で脱水しない	● 脱水を効果的に行うために、徐々に回転を上げる運転をします。
	脱水の途中で すすぎになる (給水する)	● 洗濯物が片寄ると、片寄りを修正するためにすすぎを行い、再度脱水をします。
	脱水が弱く感じる	● 洗濯物の種類により、絞り具合が変わります。お好みで脱水時間を延長してください。 ➡P17
風乾燥	乾きが悪い	● 洗濯物の量・種類、室温・湿度、設置環境により仕上がり具合が変わります。 タイマー式（30 分・60 分・2 時間・3.5 時間）のため、運転後乾きに関係なく終了します。乾き具合に応じて風乾燥運転を追加設定してください。 ● 洗濯量が多すぎませんか。化繊の衣類で 1.5kg 以下にしてください。洗濯量を少なめにすると、風乾燥の効果が上がります。 ● 脱水が不十分な衣類を入れていませんか。 ● 化繊以外の衣類が混ざっていませんか。　風乾燥をする ➡P16
	運転が終了しても 乾いていない	
水量	同じ量を洗っているのに 水量表示が違うことがある 洗濯物の量に対する 水量の表示がおかしい	● 水量は、洗濯量で決まります。化繊など軽いものが多いときには水量を少なく表示したり、ぬれた洗濯物を入れたときには多く表示したりすることがありますが、故障ではありません。　布量検知 ➡P8 自動で決まる水量が毎回少ない、または多いと感じる場合は、多めまたは少なめに調節することができます。　自動で決まる水量を増やしたい／減らしたい ➡P19

故障かな？（つづき）

修理依頼やお問い合わせの前に、以下をご確認ください。

	状　態	原　因 ／ 調べるところ
音	脱水中に一時停止すると「カタカタ」と音がする	● 急ブレーキがはたらいた音です。故障ではありません。
	脱水終了後に「シャー」「チャプチャプ」と音がする	● 本体の振動を抑えるために洗濯・脱水槽上部に入っている液体の音です。 ● 脱水終了後や洗濯・脱水槽を手でゆらしたときに「シャー」「チャプチャプ」という音がすることがありますが異常ではありません。
	給水が止まるたびに「コンコン」「ゴン」と音がする（ウォーターハンマー現象）	● 給水が止まるとき、水道管内の圧力が急激に変化することにより音が発生します。本体の故障ではありません。水栓の開き具合を調節すると音を抑えることができる場合があります。それでも直らない場合は、水道専門業者にご相談ください。
時間	洗濯時間が長い	● 所要時間は、給水量が毎分 15L のときの目安です。15L 以下であれば、表示時間より長くなります。 ● あらかじめ水が入っているときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わることがあります。 ● 残時間表示は、水道水圧・排水・脱水状態などにより、補正しながら表示しているため、変わることがあります。 ● 衣類が片寄ると、片寄りを修正するために運転時間が長くなります。
	残時間表示が途中で変わる	
臭い	異臭がする	● 排水口にたまった汚れの臭いが逆流することがあります。集合住宅などで排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体・洗濯物に臭いがつくことがあります。 処置 ● 定期的に排水口を掃除してください。 ➡P20 ● 臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。 ● 洗濯・脱水槽に付着している汚れなどにより臭いが発生する場合があります。 処置 ● 洗濯槽クリーナーを使用し、「槽洗浄（12 時間）」コースでお手入れしてください。「槽洗浄」コース ➡P21 ● ときどき、槽乾燥すると臭いの発生を防ぐことができます。 ➡P16 ● 臭いの発生を防ぐため、使わないときは上ぶたを開放し、洗濯・脱水槽の水分を取り除いてください。また、定期的にお手入れしてください。「汚れ・臭い」➡P21
振動・騒音	騒音が気になる 振動が大きい	● 本体が傾いたり、ガタついたりしていませんか。　水平の確認と調整 ➡P28 ● 洗濯物が片寄っていませんか。一時停止し、片寄りを直し再スタートしてください。 ● 洗濯ネットに厚手の衣類を入れていませんか。 ● ふとんや毛布を大物洗い用洗濯ネット（CN-3）に入れずに洗濯していませんか。 ● 硬貨やヘアピンなどの異物が紛れ込んでいませんか。
その他	据え付け時や初めて使用するとき排水ホースから水が出る	● 工場での検査時の残水で、故障や不良ではありません。
	上ぶたが開けられない	● チャイルドロックを設定していませんか。 ➡P4
	衣類が黄変する	● 水道水のさび・石けんや洗剤の残り・色移りなどにより、乾燥後に黄変することがあります。塩素系漂白剤・還元型漂白剤をお使いください。
	糸くずの付着が気になる	● すすぎ回数を増やしたり、注水すすぎをおすすめします。 ➡P17 ● 水量を多めに設定してください。 ➡P19 ● 糸くずフィルターを掃除してください。 ➡P22 ● 「糸くずの付着が気になる衣類」➡P7
	マジックつぎ手（水栓側）から水もれする	● 水栓やマジックつぎ手のゆるみやさび・傷などがあると水もれのおそれがあります。水道専門業者にお問い合わせください。 ● 水栓やマジックつぎ手からもれた水が給水ホースを伝い、本体から水もれしているように見えることがあります。

状　態	原　因 ／ 調べるところ
その他　洗濯の途中なのに 運転が止まってしまった	● 上ぶたが閉まっていますか。 ● 脱水時に洗濯・脱水槽の中で洗濯物が片寄っていませんか。 ● お好み設定方法を間違えていませんか。 ● 「槽洗浄」コース運転中ではありませんか。 （約 2 時間または約 11 時間つけおきをします。） 以上の原因でないときは、こんな表示がでたら ➡P30 をご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

別売部品

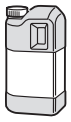
お買い上げの販売店でお求めください。

希望小売価格は 2026 年 7 月現在

● **大物洗い用洗濯ネット（CN-3）**
部品コード　301 0 2169 20500
希望小売価格　3,850 円（税込）

● **糸くずフィルター（LINT-50(W)）**
（消耗部品）
部品コード　0030205058D
希望小売価格　660 円（税込）

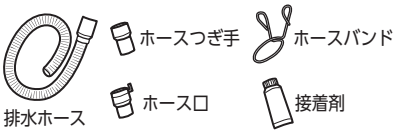
● **洗濯槽クリーナー（SWCLEAN-3）**
希望小売価格　2,310 円（税込）



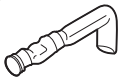
● **洗濯機トレー（TRAY-3）**
露付きによる床のぬれ防止用に
外寸　幅 574× 奥行 574× 高さ 30mm
部品コード　301 2 4134 21000
希望小売価格　7,700 円（税込）

● **ホースバンド**
部品コード　301 2 3341 19900
希望小売価格　220 円（税込）

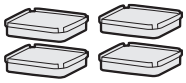
● **排水ホース補修キット**
排水ホースを延長するときに
長さ　1.34m
部品コード　S114755
希望小売価格　3,300 円（税込）



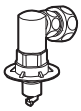
● **真下排水パイプ**
排水口が本体真下中央部にあるときに
（同時に高さ調整脚が必要です）
■ HW-PIPE-2（商品扱い）
希望小売価格　1,320 円（税込）
■ SW-PIPE-1（サービス扱い）
部品コード　301 0 3224 00100
希望小売価格　1,320 円（税込）



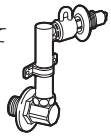
● **高さ調整脚（HW-KYAKU-ASW）**
（商品扱い）（4 個セット）
真下排水パイプを使用するときに
希望小売価格　660 円（税込）



● **給水栓ジョイント（CB-J6）**
水もれ防止機能付き
部品コード　301 0 3470 25000
希望小売価格　3,080 円（税込）
※ 水栓形状により取り付けできないものがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



● **壁ピタ水栓（CB-L6）**
水もれ防止機能付き
※その他、分岐水栓を数種準備しています。
部品コード　301 2 3450 00100
希望小売価格　8,250 円（税込）



● **給水延長ホース**

長さ	部品コード	希望小売価格（税込）
1m	301 0 3275 24900	1,870 円
2m	301 0 3275 25000	2,420 円
3m	301 0 3275 25100	2,860 円

● **高さ調節クッションゴム**
傾斜した床、凸凹な床に据え付けるときに
厚さ　5mm
部品コード　301 2 1442 23400
希望小売価格　550 円（税込）

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〈本体への表示内容〉

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた右記の表示を本体に行っています。

〈設計上の標準使用期間とは〉

- 運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

〈経年劣化とは〉

長期間にわたる使用や放置にともない生ずる劣化をいいます。

● 設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、7 年より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

【製造年】（本体に西暦 4 桁で表示してあります）

【設計上の標準使用期間】7 年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

■標準的な使用条件：JIS C 9921-4 による

区分	項　目	条　件
環境条件	電　圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温　度	20℃
	湿　度	65%
	設置条件	P22 ～ P29 の記載内容による標準設置
負荷条件	負　荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03 ～ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20℃± 15℃
使用時間及び回数	1 日の平均使用回数	1.5 回
	1 回の使用時間	標準コースの時間
	1 年間の使用日数	365 日
	1 年間の使用回数	1.5 回× 365 日＝ 547.5 回 / 年

仕様

仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

品番	AQW-S6B	AQW-S5B
種類	全自動電気洗濯機	
洗濯方式	うず巻式	
外形寸法	幅 525 ×奥行 500 ×高さ 890（mm）	
製品質量	26kg	
電源	100V・50Hz/60Hz 共用	
電動機の定格消費電力	320/360W（50/60Hz）	300/320W（50/60Hz）
標準洗濯容量 標準脱水容量	6.0kg（乾燥布質量）	5.0kg（乾燥布質量）
標準水量	46L	45L
標準使用水量（標準コース）	96L	95L
使用水道水圧	0.03 ～ 1MPa	
運転音（約）	洗い時：35dB　脱水時：47dB	

- 品番の（　）内記号は色記号です。
- 待機時消費電力（電源を「切」にした状態の電力）は、0（ゼロ）です。
- 標準洗濯・脱水容量は、JIS（日本産業規格）で規定された布地で乾燥状態の場合です。
- 運転音は、日本電機工業会自主基準「洗濯機性能評価基準」による表示です。

保証とアフターサービス

保証書（裏表紙）

「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

修理を依頼されるとき

➡P30 に従って調べてください。直らないときは内部機構を触らずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じ、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご連絡いただきたい内容
- 製品名「全自動電気洗濯機」
- 品　番
- お買い上げ日
- お名前・ご住所・電話番号
- 故障の内容「できるだけ具体的に」

◆保証期間中は
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

◆保証期間をすぎている場合は
修理により使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

◆保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。

◆修理料金の仕組み 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張料	ご依頼により、技術者を派遣する費用です。

補修用性能部品の保有期間

電気洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
- 補修用性能部品…その製品の機能を維持するために必要な部品

外国での保証は

この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

転居されるときは

転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。

一般家庭用以外の目的でご使用になるとき

理容院、美容院、ホテル、または寮や病院など 1 日の使用回数が一般家庭に比べて多い場合は、短期間で部品（モータ・軸受などの機構部品）の交換が必要になることがあります。また、耐久年数も減少します。
このようなご使用は、保証期間の対象になりません。
お買い上げの販売店にご相談のうえ、業務用機器をお使いになることをおすすめします。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談および部品のご購入は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談　〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：（365日）9：00～18：30

総合相談窓口	固定電話	0120−880−292
	携帯電話	0570−040−292（有料）
	FAX	0570−013−790（有料）

家電商品の修理サービスについてのご相談　〈 アクア 株式会社 〉

受付時間：　月曜日～金曜日　9：00～18：30
　　土曜・日曜・祝日　9：00～17：30

修理相談窓口	固定電話	0120−778−292
	携帯電話	0570−030−292（有料）

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。　https://aqua-has.com/privacy/

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検　長年ご使用の洗濯機の点検を！

こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	●電源コード・プラグが異常に熱い。 ●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水もれがする。（ホース、マジックつぎ手） ●こげくさい臭いや運転中に異常な音や振動がする。 ●本体に触るとビリビリ電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	▶	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉じて必ず販売店に点検をご相談ください。

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質【注1】を含有しておりません【注2】。
(JIS C 0950「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」に従って表示しております)
【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」及び「ポリブロモジフェニールエーテル」の6種類の化学物質
【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。
https://aqua-has.com/about/jmoss/

アクア 株式会社
〒103-0012　東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号

0030521422B